

令和7年度

男女共同参画に関する市民意識調査

報告書

東御市

— 目 次 —

調査の概要

調査結果

ご自身のことについて	1
男女共同参画社会に関する意識について	3
家庭生活等に関する意識について	4
地域活動について	7
ワークライフバランスについて	9
選択的夫婦別姓に関する意識について	10
配偶者からの暴力について	11
人権について	13
男女共同参画社会に関する行政への要望について	15
その他	16
ご意見欄 「男女共同参画」について普段感じていること	17

調査票

調 査 の 概 要

1 調査の目的

この調査は、第3次東御市男女共同参画推進基本計画(令和5年度から令和9年度)の策定にあたり、市民の皆さんの「男女共同参画」に関する意識をお尋ねし、計画策定の基礎資料とすることを目的としています。

2 調査対象

東御市在住の18歳以上の男女 1,000 人(無作為抽出)

3 調査方法

郵送による配布

郵送、電子申請による回収

4 調査時期

令和7年9月 16 日～令和7年 10 月 20 日

5 回収結果

(1) 回収数(率) 386(38.6%)

6 その他

- (1) 百分率(%)は小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記しています。このため 100%にならない場合があります。
- (2) 設問において、回答項目の「その他」の記載欄をお願いしたもの、回答理由をお願いしたもの、および「ご意見欄」に記載していたものにつきましては、原則、原文のまま掲載しています。

一 調査結果 一

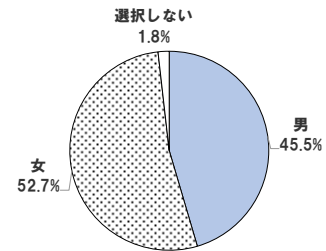
あなたご自身のこと

あなたの性別を教えてください。

【回答者数：385人】

男	女	選択しない
175	203	7

(人)

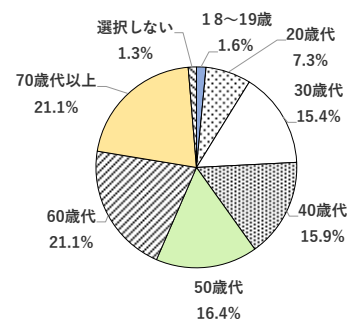


あなたの年齢を教えてください。

【回答者数：384人】

18～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	選択しない
6	28	59	61	63	81	81	5

(人)

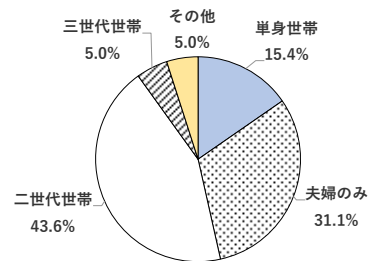


あなたの家族構成を教えてください。

【回答者数：383人】

単身世帯	夫婦のみ	二世帯世帯	三世帯世帯	その他
59	119	167	19	19

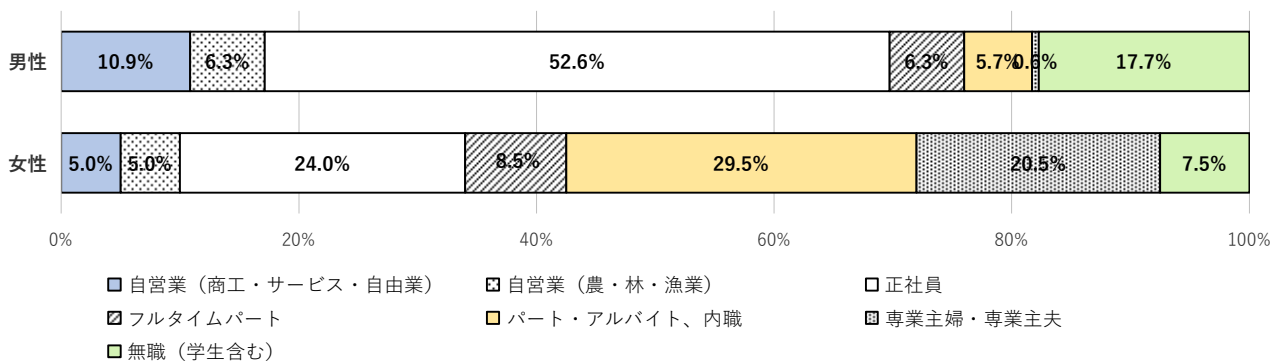
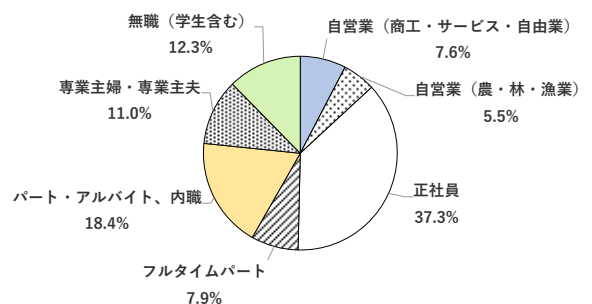
(世帯)



あなたの職業について教えてください。

【回答者数：381人】

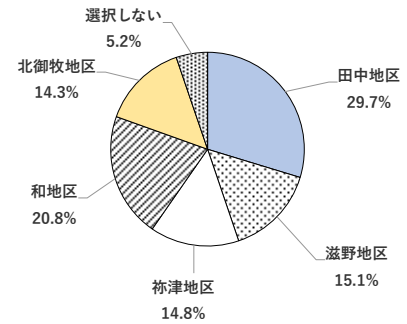
自営業(商工・サービス・自由業)	自営業(農・林・漁業)	正社員	フルタイムパート	パート・アルバイト、内職	専業主婦・専業主夫	無職(学生含む)
29	21	142	30	70	42	47



あなたの居住地区を教えてください。 【回答者数：384人】

田中地区	滋野地区	祢津地区	和地区	北御牧地区	選択しない
114	58	57	80	55	20

(人)

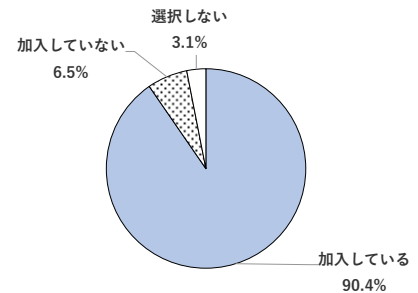


あなた(あなたの世帯)は区(自治会)に加入していますか。

【回答者数：385人】

加入している	加入していない	選択しない
348	25	12

(人)

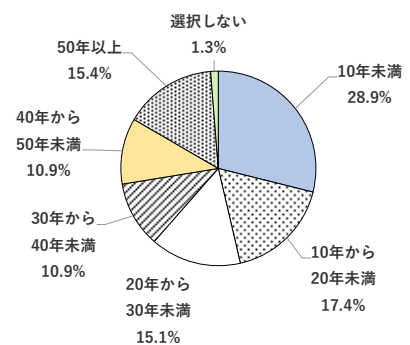


あなたは今の住所に居住して何年になりますか。

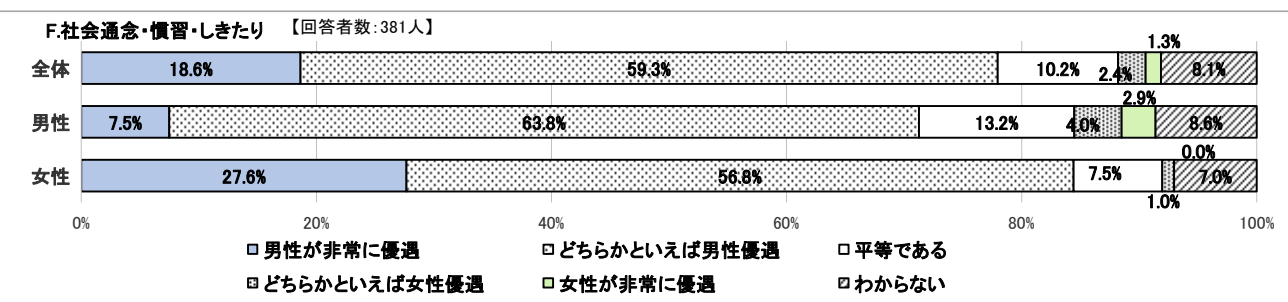
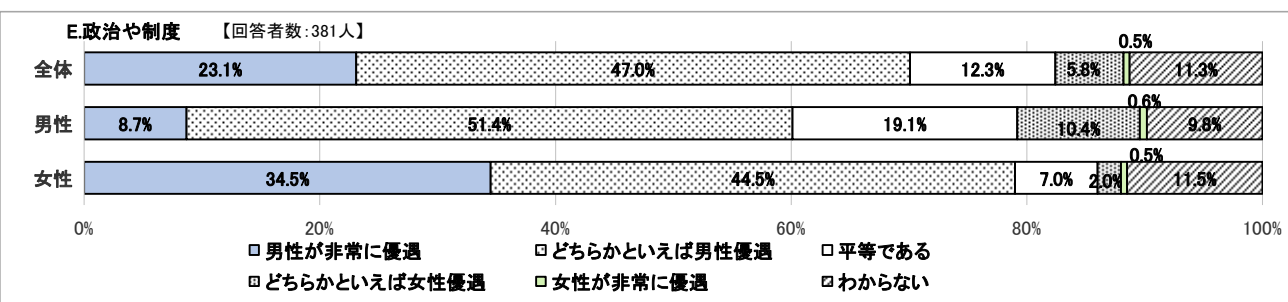
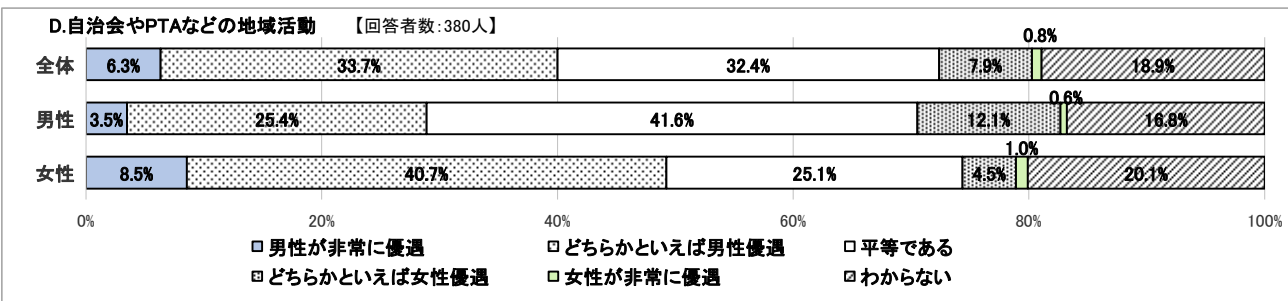
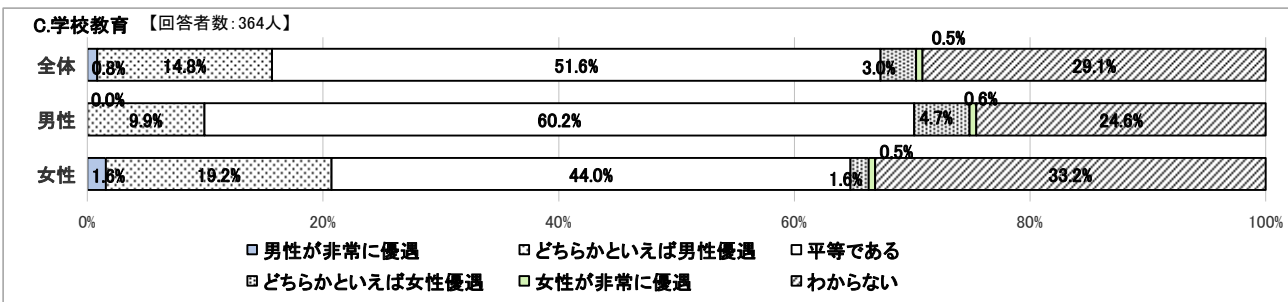
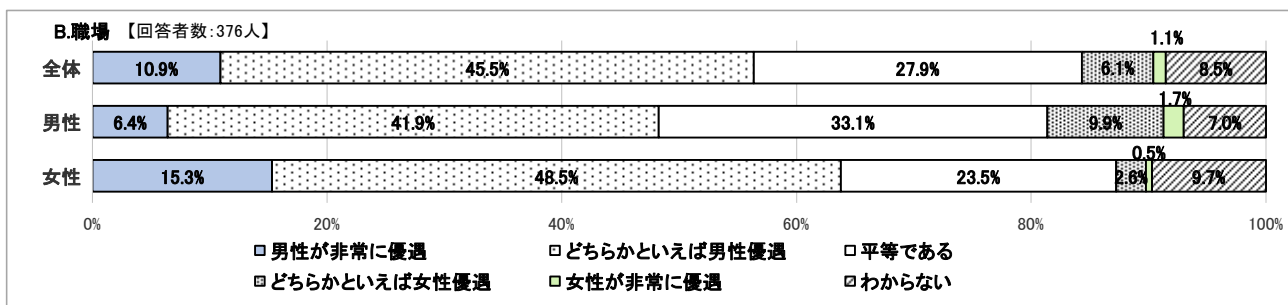
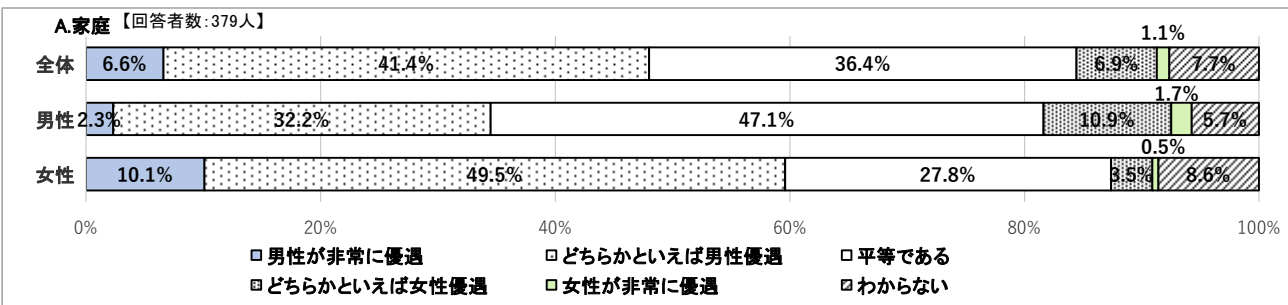
【回答者数：384人】

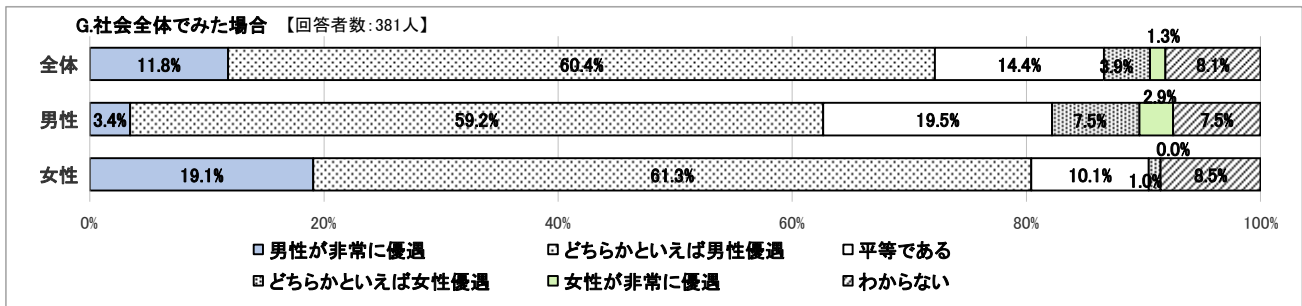
10年未満	10年から20年未満	20年から30年未満	30年から40年未満	40年から50年未満	50年以上	選択しない
111	67	58	42	42	59	5

(人)



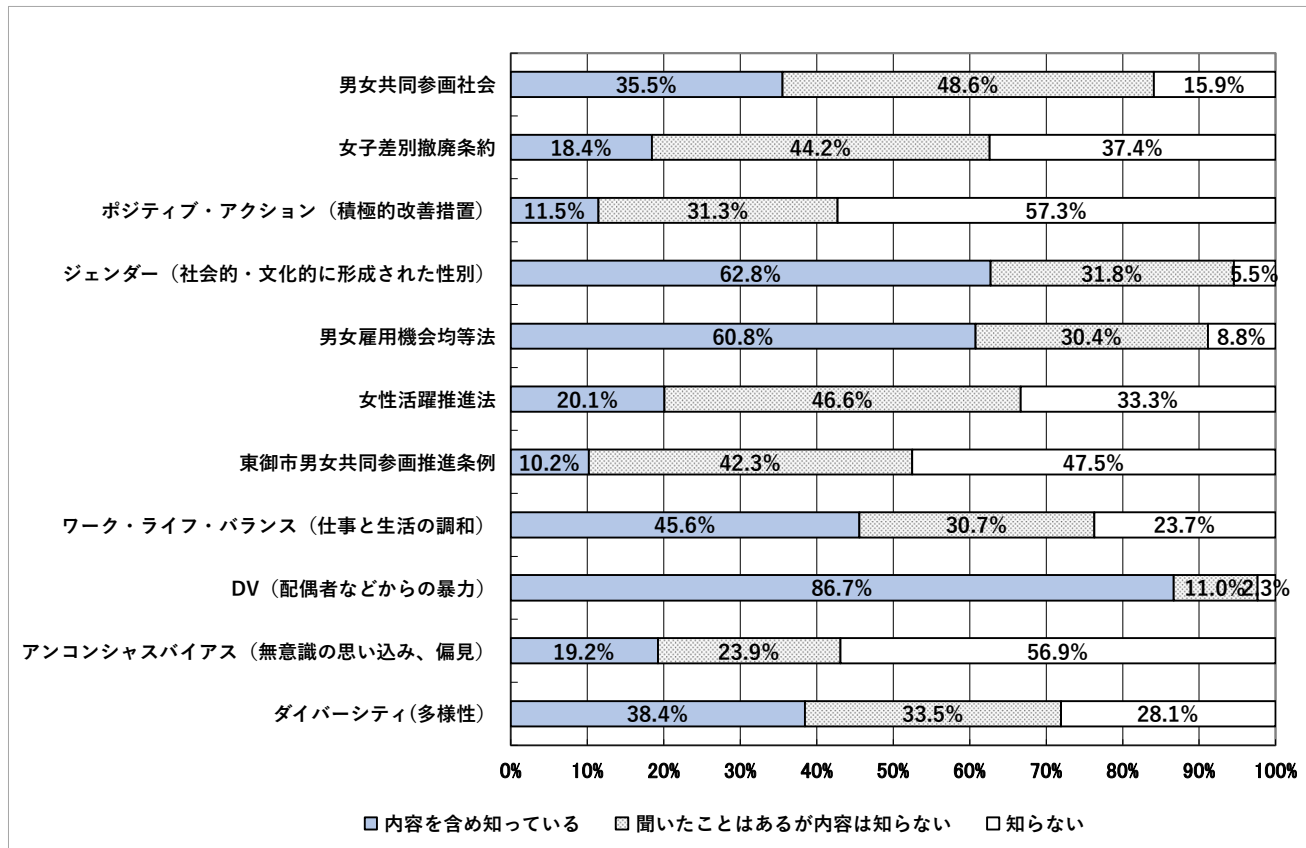
問1 あなたは、現在の日本社会が男女平等だと思いますか。(それぞれ1つに○)





問2 あなたは、次の言葉や事柄について、どの程度ご存じですか。【一つだけ〇】

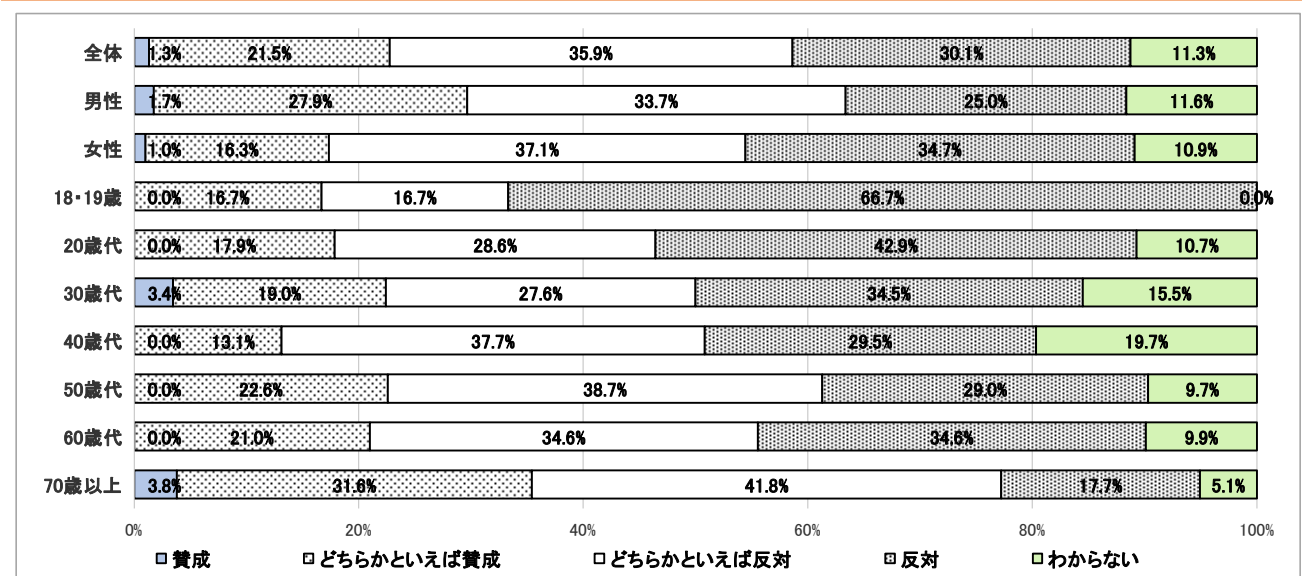
【回答者数:383人～385人】



家庭生活等に関する意識について

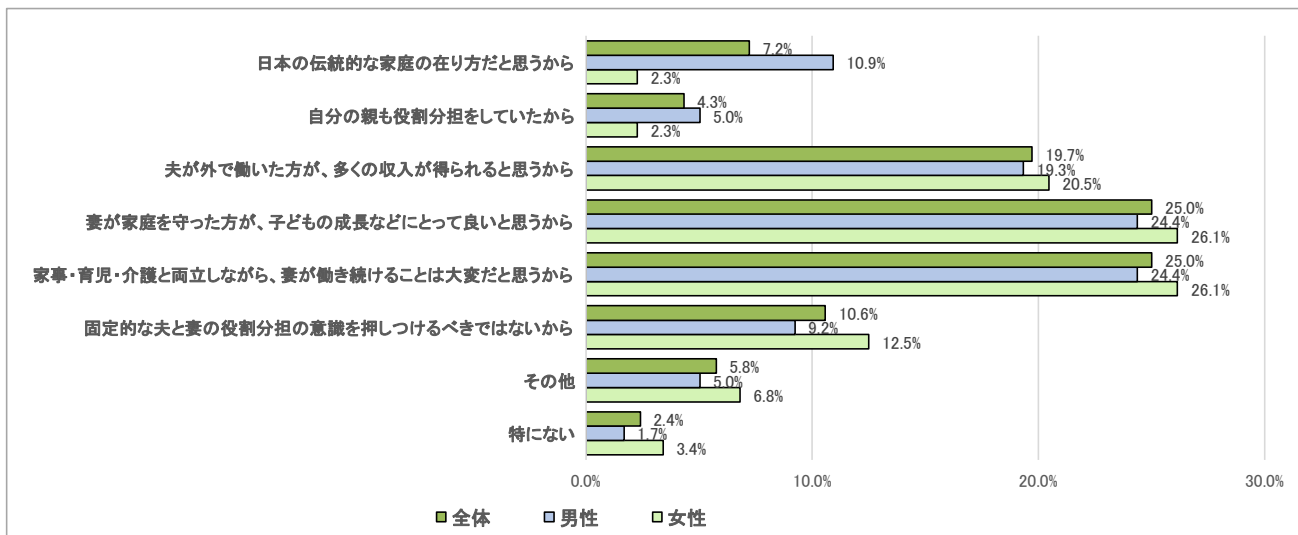
問3 あなたは「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、あなたはどのようにお考えですか。（一つだけ〇）

【回答者数:382人】



問4 問3で「1. 賛成」、「2. どちらかといえば賛成」と答えた方にお聞きします。それはなぜですか。(3つまで)

【回答数:208】

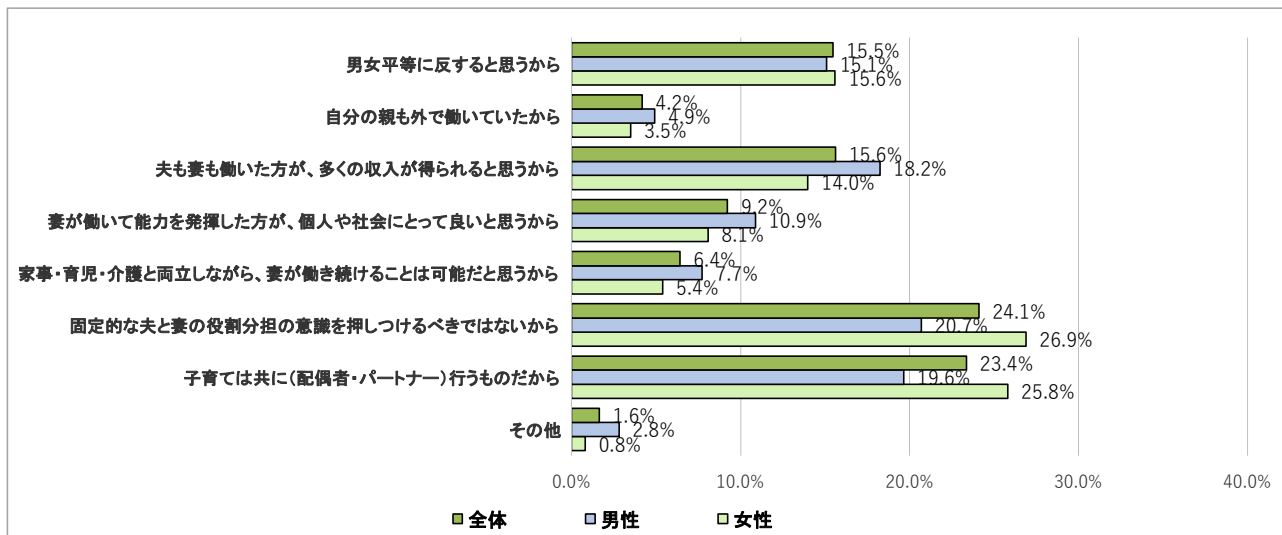


【その他の意見】

- ・社会通念、政治が男性優遇と感じているので、男性が働いて、十分に家計を成り立たせてほしい。(50歳代女性)
- ・子どもを産むのは妻だから(50歳代女性)
- ・2人で長い間飲食店をやってきて、子どもが小さい時も放っておいて働きました。子供に大変な思いをさせたと思っています。(70歳以上女性)
- ・出産は女性しかできない。その間あるいは出産後しばらくは、女性は外で活動できない。結果、その後も男性と同じ責任分担されることはかなり負担となる。(70歳以上女性)
- ・苦手なことを女性に押し付けていると思う所有り 男性側の意識の問題(30歳代男性)
- ・「守る」という言い方は夫婦どちらもすべき事と思う。家事・育児・介護は女性でも男性でも立派な働きの一つ。外での仕事と育児等内での働きがあって生活は成り立つ。それによって家庭は守られる。(40歳代女性)
- ・家で出来る仕事もあり、各家庭により事情は異なると思います。(70歳以上女性)
- ・女性も働くことによって、社会の雇用バランスが崩れたため 働いても貧しい人たちが増えている(40歳代男性)
- ・その家庭ごと違っていいと思うから(30歳代女性)
- ・妊娠、出産して死ぬ思いで頑張ってくれてるのに、さらにフルタイムで朝から晩まで働けというのは酷だと思います。休んでください。(30歳代男性)
- ・少子化対策には良いと思う(40歳代男性)
- ・守るべきというより、子育てしていると自然と家にいる時間が増える。フルタイムの共働きを強要すると、夫が家事育児をしても、時間的に生活がきつくなる。(30歳代男性)
- ・子供の数を増やすには役割分担は必要と考えるから(50歳代男性)

問5 問3で「3. どちらかといえば反対」、「4. 反対」と答えた方にお聞きします。それはなぜですか。(3つまで)

【回答数:672】

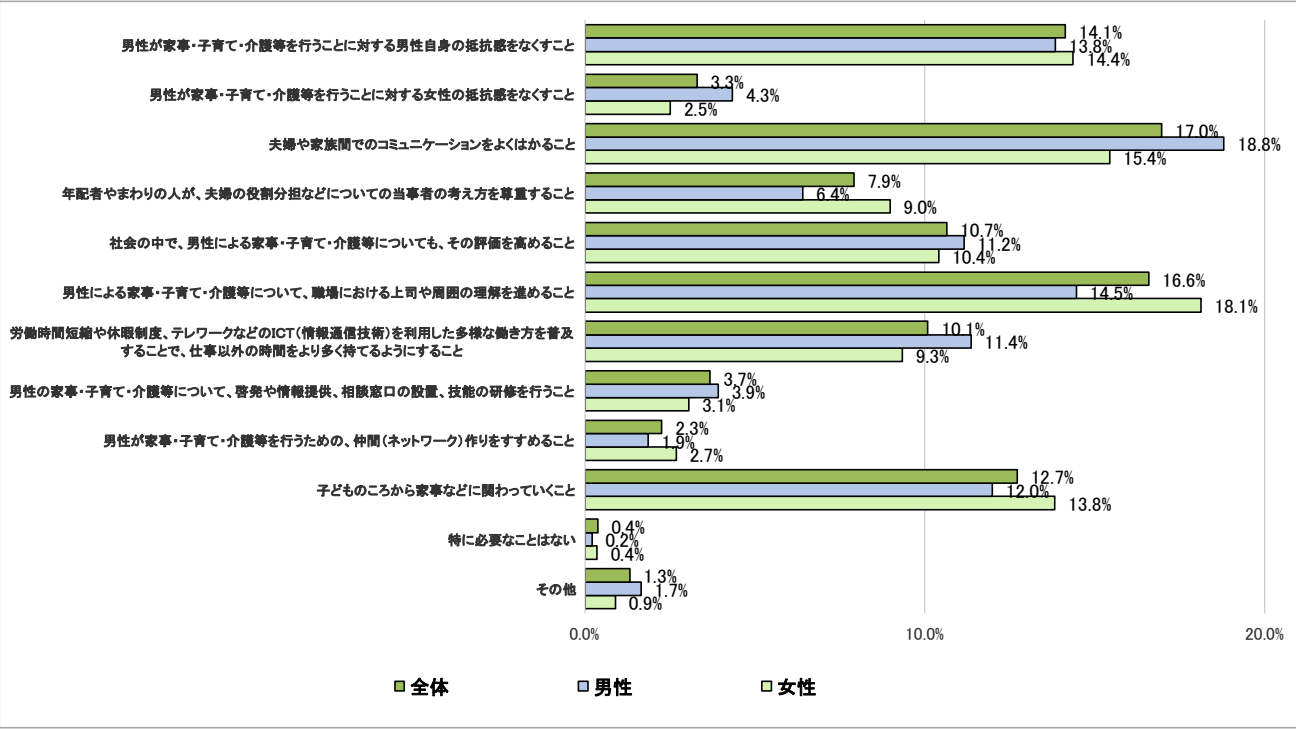


【その他意見】

- ・性別問わず、家庭生活に関わる仕事は平等に担うべきと思うから(50歳代女性)
- ・各家庭にあったやり方があると思うから(18・19歳女性)
- ・夫婦間での思い、環境によるものだと思うから(20歳代女性)
- ・それぞれの家庭で生活環境が様々な為、その家庭に合った生活スタイルを考え、ストレスを抱かない日々を送ることを構築すべきである(50歳代男性)
- ・働きたい方が働けば良いと思います。得意なものを生かせばよい(40歳代女性)
- ・人それぞれ、家庭それぞれで決めれば良い事だから。(50歳代女性)
- ・お互いに得意分野があれば、それを担当した方が良いと思います。(50歳代女性)
- ・そのような考え方は世間からバッシングされるため(40歳代男性)
- ・夫婦で決めればよい(30歳代男性)
- ・お互いに納得していれば良いと思うから(20歳代女性)
- ・1人で生活した場合でも、生きていくために労働したり、家事はある程度はするから。(18・19歳女性)
- ・それぞれ家庭事情ある。1人親も少なくない(40歳代女性)

問6 あなたは、家事、子育て、介護等に男性が積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(3つまで)

【回答数:1061】

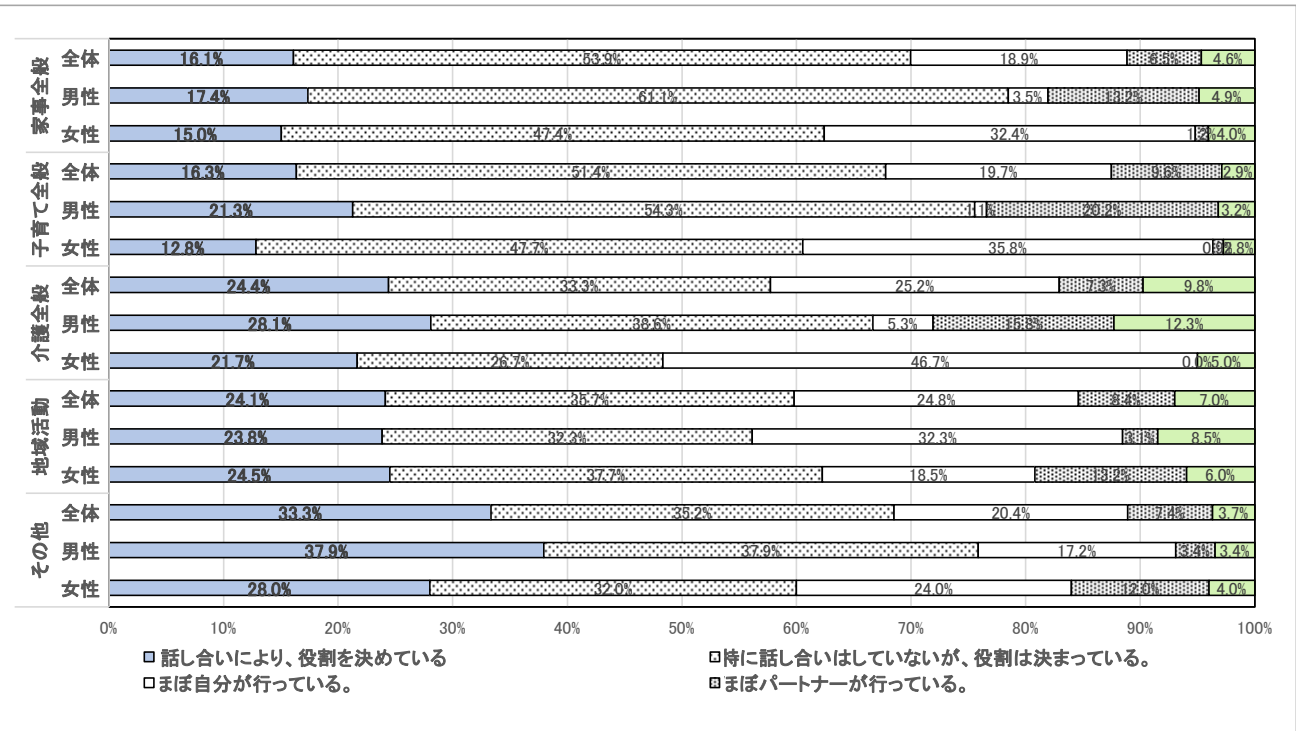


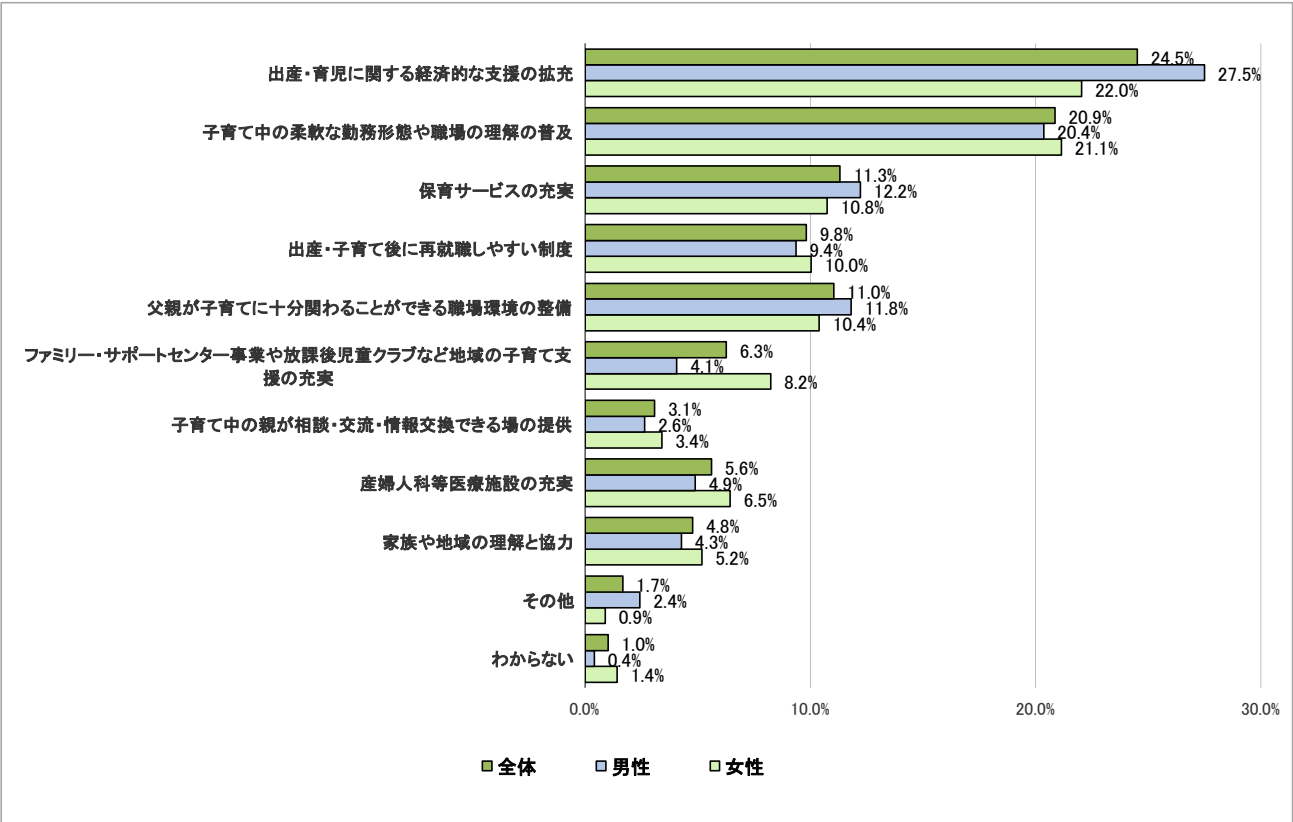
【その他意見】

- ・男性の意識改革(50歳代男性)
- ・子どものころからの教育(家庭・学校)(50歳代女性)
- ・夫婦がお互いに尊重しあうことが大切(70歳以上女性)
- ・基本にお給料を手どりを上げてもらいたい。生活できないから家事、育児、子育て、介護に時間を作れない。(30歳代女性)
- ・子育て、介護などかわりが終わったので、なんとも言えない(70歳以上女性)
- ・コミュニケーションが基本。互いに思いやり、感謝をあらわす。(70歳以上女性)
- ・テレワークになってから、就労時間がのびたという話を聞いたことがあります。(およらく同じ給料で)(50歳代女性)
- ・男性の意識改善(40歳代女性)
- ・収入を増やす(20歳代男性)
- ・育休手当が給料の100%貰える期間の延長(30歳代男性)
- ・既に積極的に参加している(50歳代男性)
- ・結婚前に一人暮らしして、基本的な家事を全てできるようにする。(30歳代男性)
- ・夫婦の仕事に対する負担と対価が平等(同等)であること(40歳代男性)
- ・男女間の給料体系を平等にする事(60歳代男性)
- ・男性に当事者意識を持ってもらうこと。(30歳代女性)

問7 あなたは、配偶者またはパートナーとの間で、家事・子育て・介護・地域活動の役割分担について、どのように決めていますか。

【回答数:972】





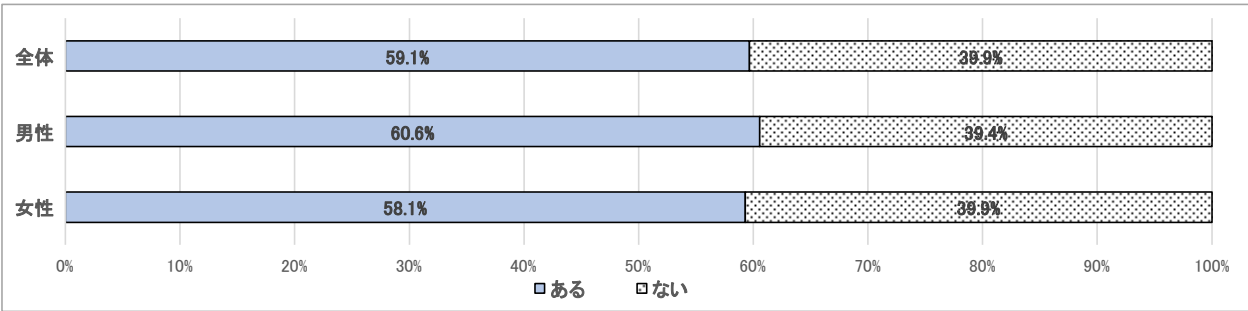
【その他意見】

- ・お金があれば若いうちから子供を産む人も増える。減税も大事。(40歳代男性)
- ・社会保険を減額し、手取り額を増やす(30歳代女性)
- ・自分の時間、都合が制限されることへの覚悟(40歳代男性)
- ・物価高騰に追い付く給与(30歳代男性)
- ・親のサポート(40歳代男性)
- ・社会保障負担制限の撤廃、働いた分だけ収入を得られる制度。(40歳代男性)
- ・子の看護のために休める日が5日では全然足りない。休めないなら、感染症の子供も保育園で預かってほしい。(30歳代男性)
- ・東御市に陣痛タクシーがないのは致命的(30歳代男性)
- ・暮らしやすい生活(50歳代男性)

地域活動について

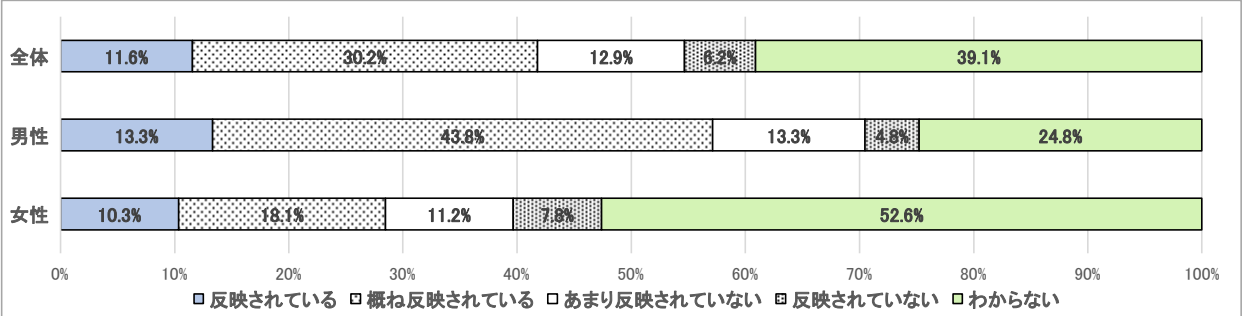
問9 あなたは、区(自治会)や公民館、PTAなどの地域活動に、役員として参加したことがありますか。

【回答者数：386人】

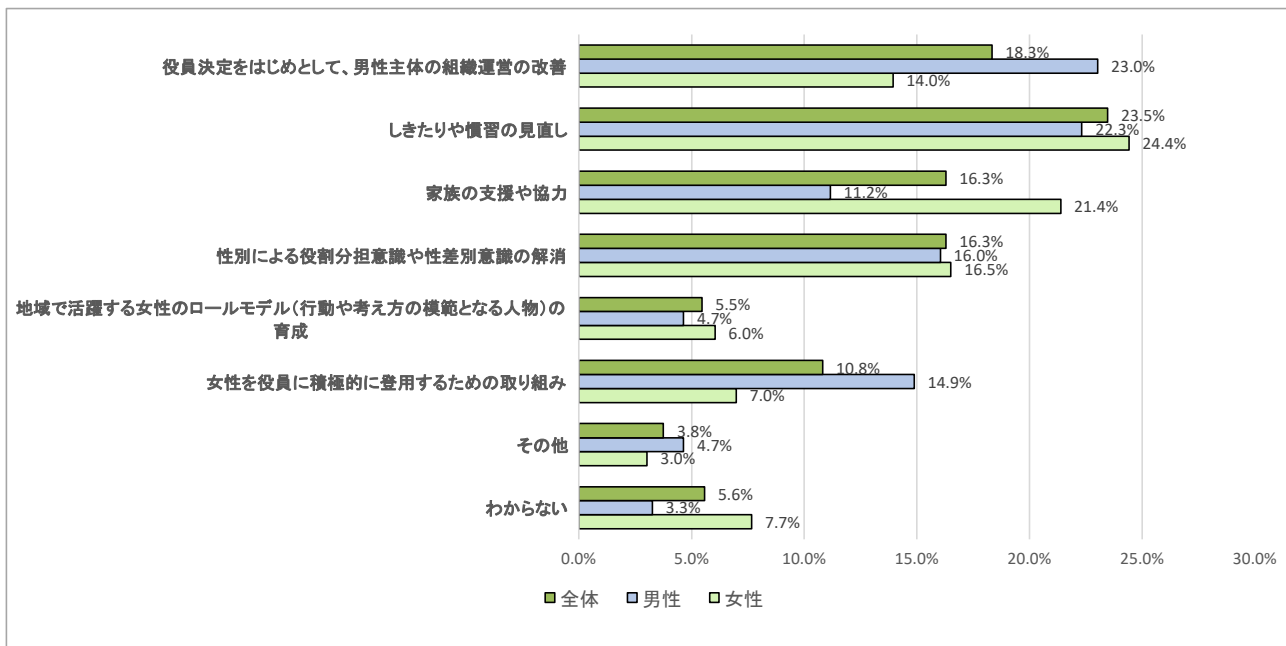


問10 参加した(している)地域活動等で、あなたの意見は反映されていると思いますか。

【回答者数：225人】



問11 女性の社会参画が進みつつありますが、区長(自治会長)、公民館長、PTA会長などは、まだ、女性が少ないのが現実です。このような方針決定の場に女性の参画を増やすためには、あなたは何かが必要だと思いますか。(3つまで) 【回答数:878】



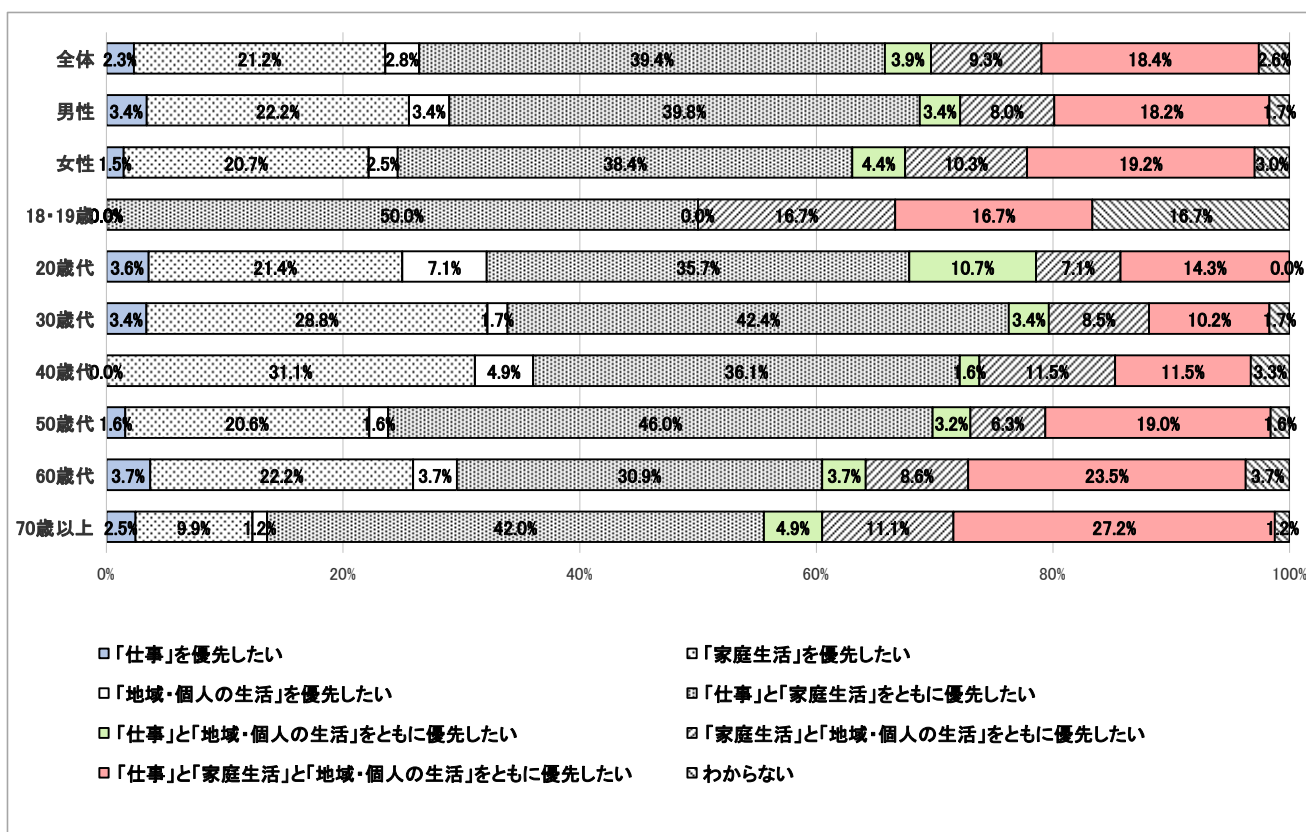
【その他の意見】

- ・そもそもやりたがる女性がそんなにいるのかどうか。(40歳代男性)
- ・女性自らが積極的な参加が必要(40歳代男性)
- ・自然に任せ、わざわざ増やす必要はない(50歳代男性)
- ・男性や女性から各1名などと規定しないと決まらない。また、役員内容の負担軽減が必要(50歳代女性)
- ・業務の整理、役員の負担軽減(40歳代男性)
- ・宿泊を要する出張などへの配慮、考えの再考。(70歳以上男性)
- ・適材適所(60歳代女性)
- ・夜遅い時間に女性が出歩くことに危険を感じる。自治体運営にITシステム(スケジュール管理やWeb MTGなど)を積極導入する。(30歳代男性)
- ・役職をやりたい人がそもそもない、やりたい人を見つけるやり方があれば(30歳代男性)
- ・特に年配男性の意識改善(40歳代男性)
- ・男性〇名、女性〇名で人数を決めておけば、その中で決まるため、まずはルール作りをしっかりとすること。(30歳代男性)
- ・特任支援高齢男性が集まったときに生じがちな圧力感、男性の一体感の解消(18・19歳女性)
- ・区長は数年先まで決めて有り他役員はくじ引きで数年先まで決めてある。70才を定年と定めてある。(70歳以上男性)
- ・女性が仕事、家事、育児に負担にならぬように、地区の役員、PTAの役員(時には役員が重なる)に参加するためには、役員、役職の数を厳選し、縮小する。リモート会議等を活用して、短時間の会議、回数を減らす等の改革、子どもを連れての会議、行事への参加を周囲の人が手助けする仕組みづくり。(60歳代女性)
- ・やりたがらないのが現実的に、誰も邪魔していない(50歳代男性)
- ・PTAなど廃止してほしい(30歳代女性)
- ・できればやりたくない。しかたなく男性がやっているのが現状と思います。(50歳代男性)
- ・適材適所、無理に女性を増やす必要はないし、数の比率にこだわるのが男女平等になると思えない。良いと思われる人が男でも女でも良いと思う。(60歳代女性)
- ・区長になれば市役所に呼び出されることがすごく多くて、女性にはとても無理だと思います。呼び出されること100数十回とか。働かなければならない年齢に受けた夫は必要のなさそうな件には出席していませんでした。(70歳以上女性)
- ・役員自体ない世界(40歳代女性)
- ・女性自身が積極的に参加しようと思える、意識改革が必要だと思う。(50歳代女性)
- ・そもそも女性を活躍するようと言って、男性がフォローができていないから女性のやる事が増えているだけになっているように感じる。あれもこれもできる人ばかりではない。みんなが選択できるようになったらいいのではないのでしょうか。(40歳代女性)
- ・女性のやる気も必要だと思います。(40歳代男性)
- ・女性に意見を取り入れる姿勢が必要(70歳以上男性)
- ・3役ばかりでなく地域のあらゆる活動、集まりの場で年齢に関係なく男女に関係ない活動や意見発表の場をつくり、実践に移していくこと。魅力ある活動・参加し易い設定の工夫を考えていく(70歳以上女性)
- ・男女関係なく、作業量に応じた報酬をあたえる(60歳代男性)
- ・草刈、道普請の作業に力不足 夜間の会議に欠席される(60歳代男性)
- ・家事や仕事で忙しいので、やりたくない(50歳代女性)
- ・女性の社会参画は必要だと思うが、家庭での役割負担が多い中、さらに地域活動の役員を行うのは、かなり大変な事だと思う。(50歳代女性)
- ・女性自身の意識の向上、地域社会での正当な評価基準(60歳代女性)
- ・そのようなリーダー的立場にある方は、どうしてもその仕事に時間をさかなければなりませんが、平等の意識がある若い世代はそこにさく為の時間がありません(就労や家庭のこと)。そのため時間に余裕のある高齢者世代が任われることが多く、その世代は性別による役割分担が当たり前ですから、女性が少ないのも無理ないと思います。(PTA会長は女性が多いのではないのでしょうか?)なので、個人的には、世代交換するにつれて、自然と女性も増えていくと思います。その中で一番大事なことは選出する側のアンコンシャスバイアスをいかにコントロールできるかではないでしょうか。(20歳代女性)
- ・自治会の活動自体が時代に合っていない傾向？消極的な参加となっていないですか？(50歳代男性)
- ・仕事、家事、育児いずれは介護もすべて行っているのにムリです。逆に区長、公民館長、PTA会長、議員なさっている男性にこれらも両立させているのでしょうか。(40歳代女性)
- ・自分はやりたくないです。自信も能力もないので。私以外もやりたい方は少ない感じがします。私は地区の事をよく知らないの、どんな素晴らしい方がいるか把握していません。男女問わず(50歳代女性)
- ・女性自身の意識改革(70歳以上女性)

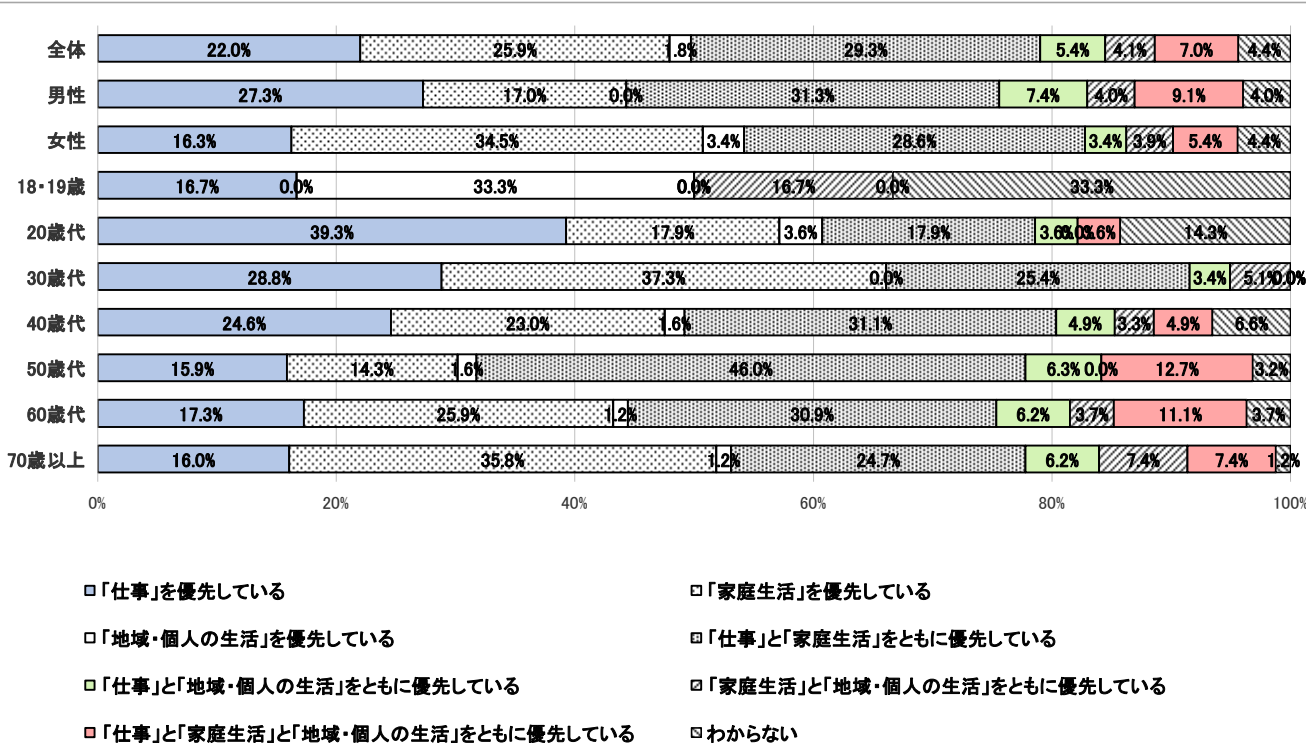
問12 生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活(地域活動・学習・趣味・付き合いなど)」の優先度についてお伺いします。

【回答者数:386人】

(1) あなたの希望・理想に最も近いものを回答してください。(1つだけ)



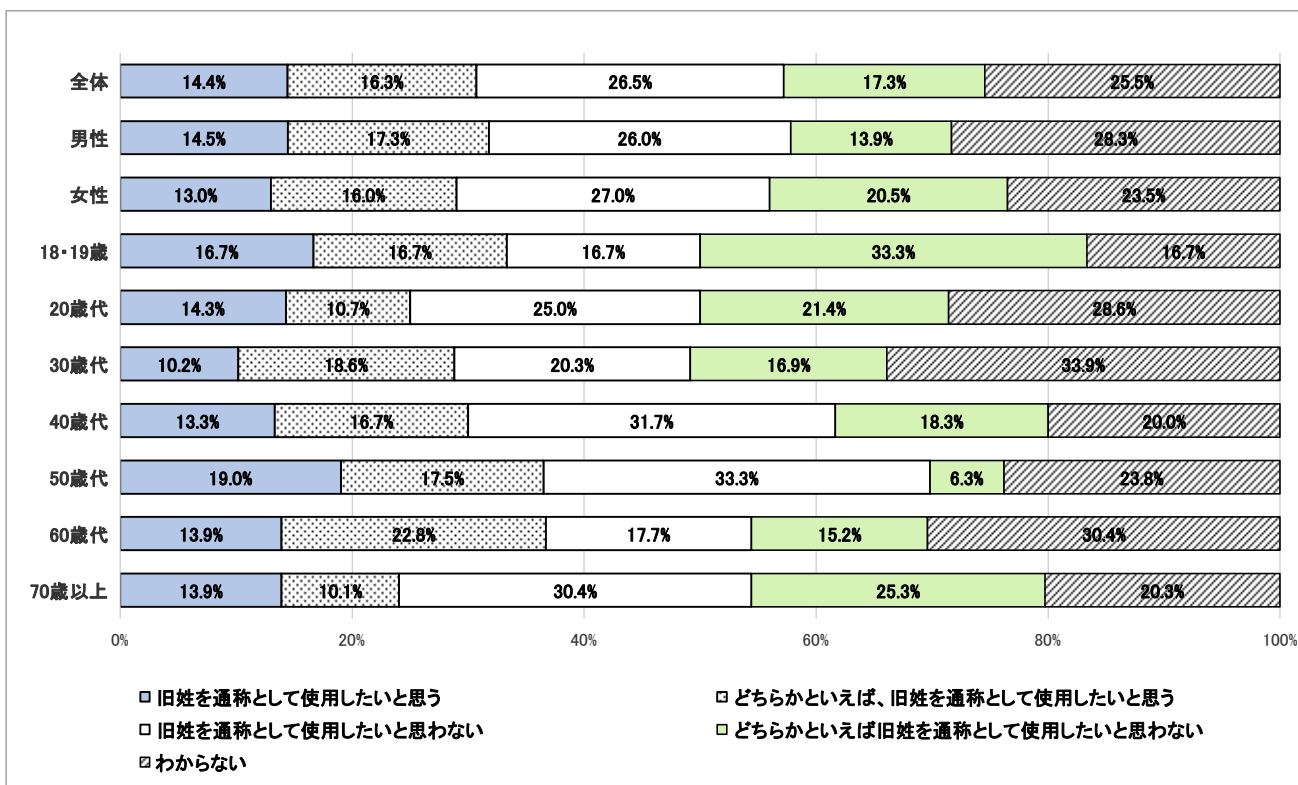
(2) あなたの現実・現状に最も近いものをお応えください。(1つだけ)



選択的夫婦別姓制度に関する意識について

問13 あなたは、仮に結婚して戸籍上の名字(姓)が変わったとした場合、働くときに旧姓を通称として使用したいと思いますか。
あなたが結婚なさっている、いないに関わらず、回答してください。【1つだけ○】

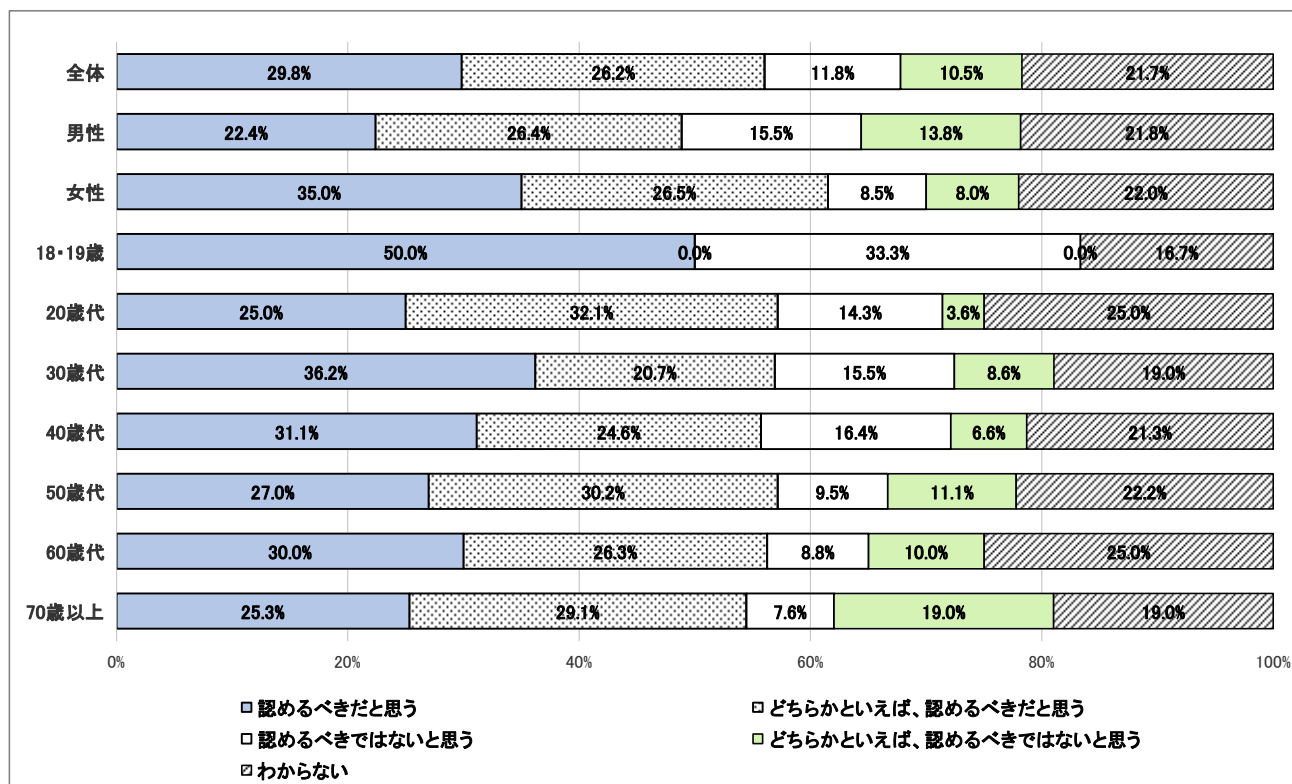
【回答者数:381人】



問14 現在、日本では「選択的夫婦別姓制度」は認められていませんが、選択的夫婦別姓は認められるべきだと思いますか。

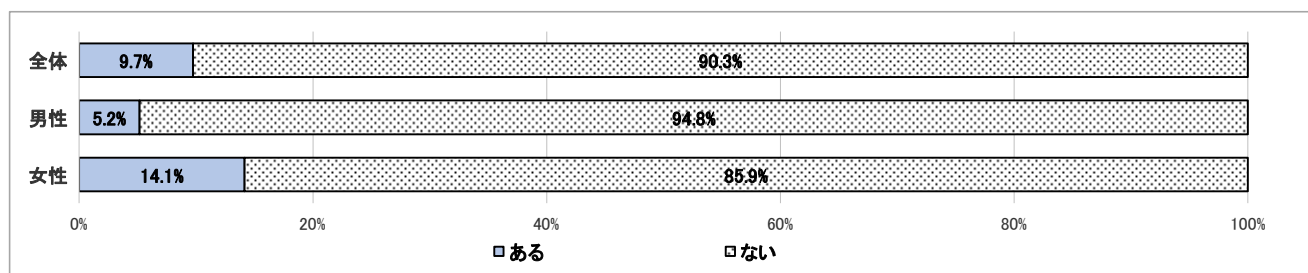
【1つだけ○】

【回答者数:382人】



問15 あなたは、配偶者やパートナー、交際相手から暴力を受けた経験がありますか。

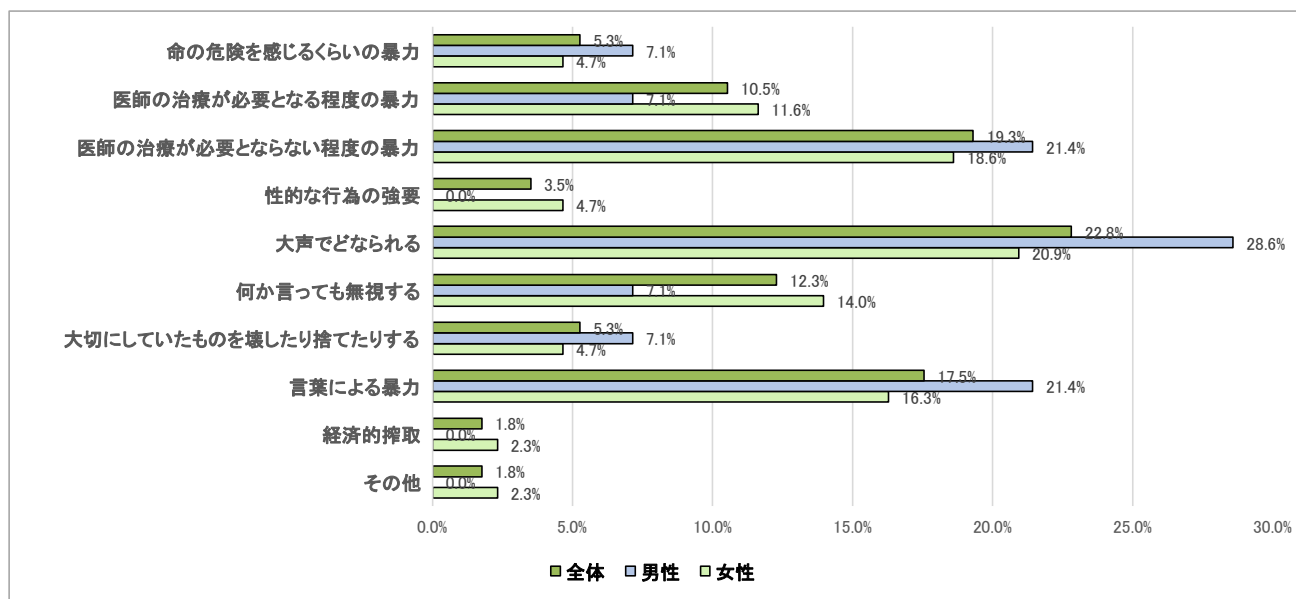
【回答者数:380人】



問16 問15で「ある」と答えた方は次の問いにお答えください。

【回答者数:57人】

(1)それは、下記のうちどのような行為ですか。【複数回答可】

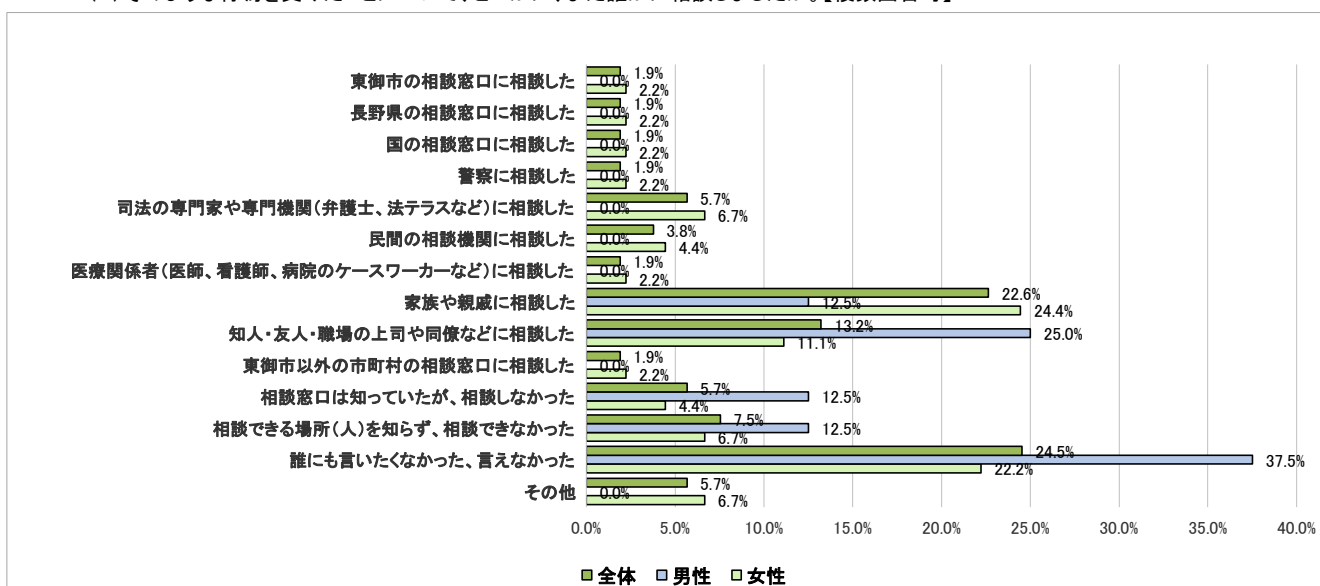


【その他の意見】

- ・一度だけ殴られた(70歳代女性)
- ・夫の性格がそうであるなら仕方のないと思いますが許してはいないです。夫の母がしょっちゅう父を怒鳴っていましたのでそうなると思ってました。(70歳以上女性)
- ・時間・金銭面で自分の生活、人付き合い、仕事を最優先され、妻、子どもの生活はないがしろにされる(40歳代女性)

(2)そのような行為を受けたことについて、どこかに、また誰かに相談しましたか。【複数回答可】

【回答者数:53人】



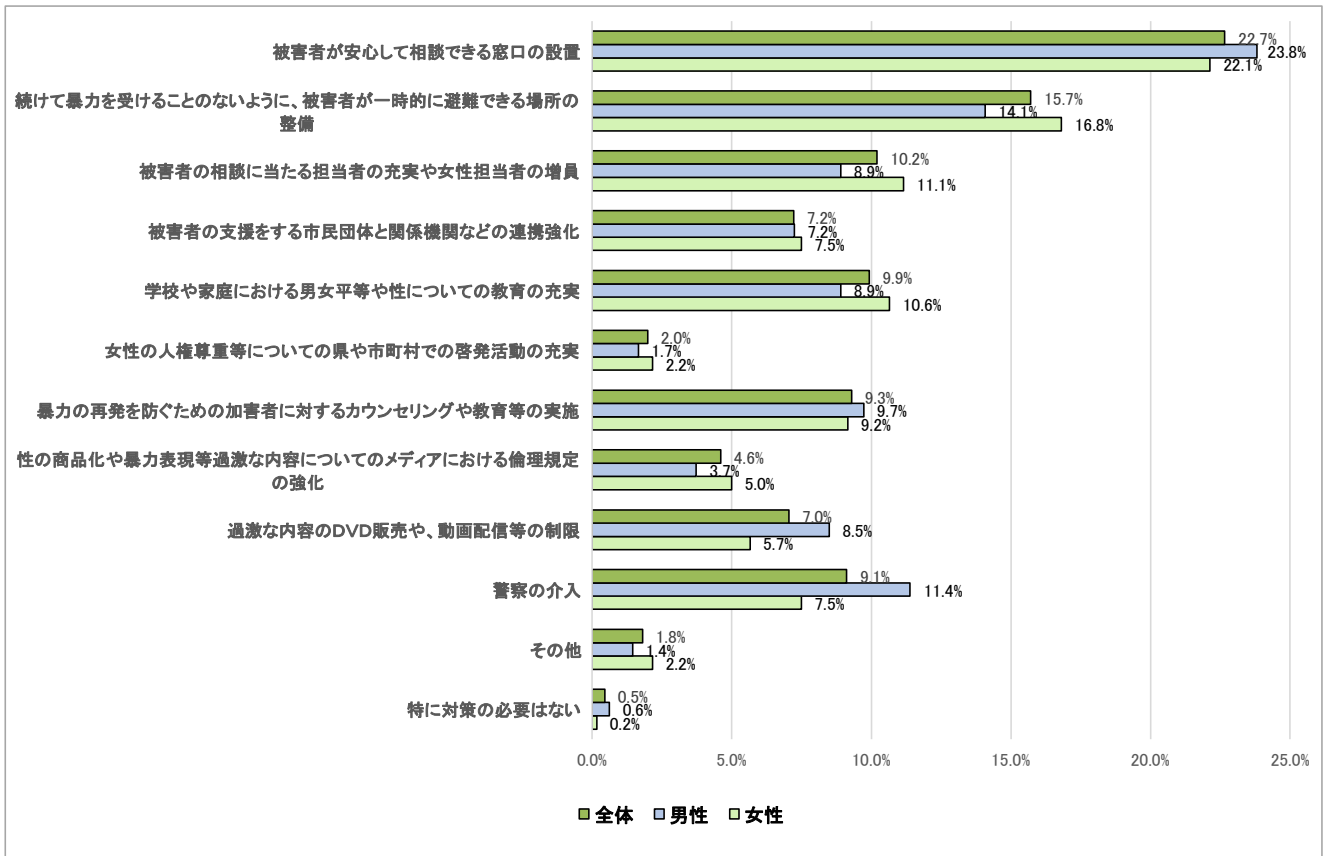
【その他の意見】

- ・相談したというより、グチとして聞いてもらっています。友人に(70歳以上女性)
- ・今思えば警察に通報するべきだったと反省をしています(70歳以上女性)
- ・言葉は暴力なのか相手をきづつけても分かりづらい、自分も相手を気づつけているかも?(20歳代女性)
- ・やり返した(40歳代女性)
- ・いつか復習するために、誰かに口外はしない。(30歳代女性)

問17 性犯罪、夫婦間暴力、セクシャルハラスメントなど女性に対する暴力の対応として、どのようなことが効果的だと思いますか。

【複数回答可】

【回答数：1108】

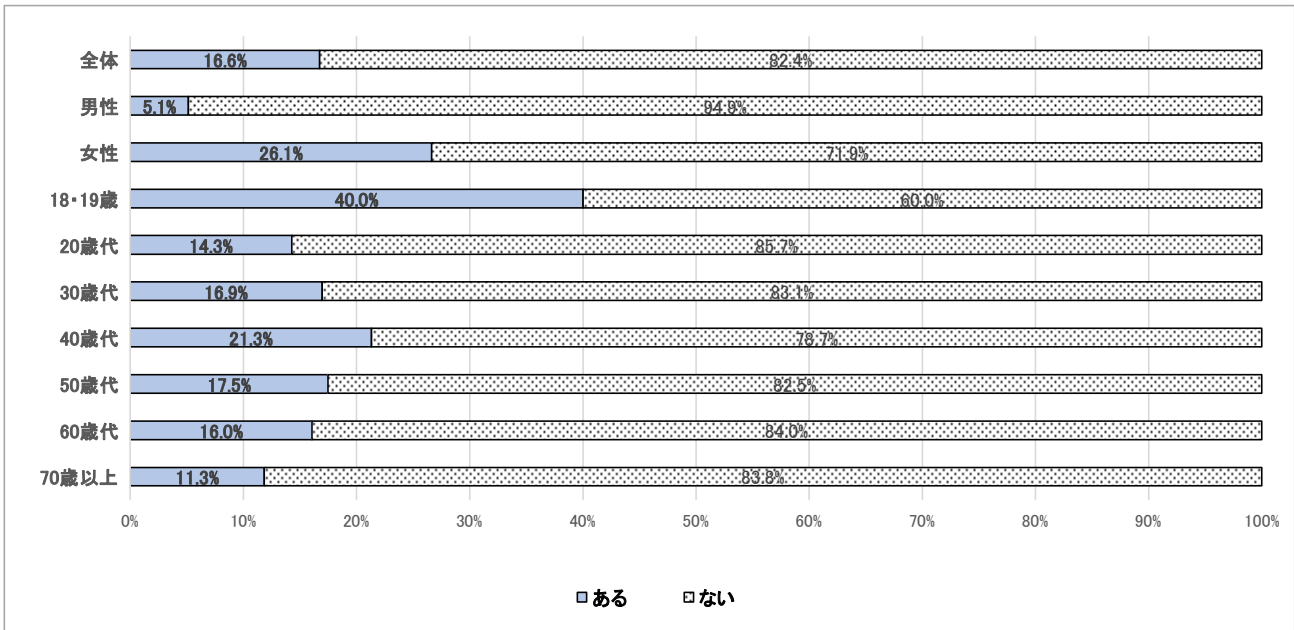


【その他の意見】

- ・罰則の強化(30歳代男性)
- ・難しい問題だと思います。精神科で看護師として働いていましたが、ひとすじなわけではないと思うからです。(50歳代女性)
- ・暴力がおきてから対応する者でなく、日々性に対する教育の継続化が必要だと思う。子供の時に性教育を強化するのではなく、大人になってからの人間ドックや健康診断のように定期的なヒアリングによる推進が必要だと思う。(40歳代女性)
- ・この質問は男性が受ける、被害者となる視点に立っていない。言葉、肉体的暴力、経済的いじめ等男性にもあるという視点も考慮されるべきでは？(60歳代女性)
- ・SNSによる、広告の多さや、動画の収益(60歳代女性)
- ・都会だったら、人が多いので誰かわからないが、否かだと、こういう場所(2)の使用は、顔が分かってしまい、利用しづらそうだが。(60歳代女性)
- ・加害者に被害者の痛み、苦しみを同等もしくはそれ以上与える(不明男性)
- ・8, 9は、見たり聞いたりしてしまうかもしれないので、教育をとおして教える必要があると思う。(30歳代女性)
- ・男性被害者の相談や支援等も女性同等増やすべき(50歳代女性)
- ・被害者が逃げなくてはいけなかったり、守るために何かをしなければならないのはなぜか。加害者が悪いのだから、加害者を被害者に一切近づけないようにすべき。(20歳代女性)
- ・被害者が男性の場合もあると思う(30歳代男性)
- ・子供の時から男性教育が必要だと思います。(70歳以上女性)
- ・加害者の罰則の強化(60歳代男性)
- ・相談に関わった期間等が継続して関わって行ける社会が必要だと思います(70歳以上男性)
- ・家庭内における各個人の人格の尊重や家庭を支えていくための各個人の協力や協調をどう考えるか。学校教育や生涯学習等で社会的な概念を育んでいく方法を工夫する。(70歳以上女性)
- ・性犯罪者への厳罰化(極端な)(30歳代男性)
- ・加害者の公表(GPSでの行動管理など)再犯率が高いため(50歳代男性)
- ・被害者が永続的に避難できる場所の整備、制度の整備(40歳代女性)
- ・「どれだけ相手のことを思いやり、尊重できるか」のレベルは人それぞれです。だからこそ、そこを個人まかせにしたり、道徳教育として間接的に伝えるのではなく、義務教育の中で「このようなことは犯罪です」「このようなことは本当にあってはならないことで、もし被害にあっていると思ったら、犯罪の可能性があるので市の〇〇課に相談しましょう」「自分を守るその行動は、相手の今後を守り大事にすることにもつながるのです」・・・と性教育や虐待等の社会問題・法律を学ぶタイミングで、事あるごとに繰り返しストレートに伝え教えていくべきです。「何が正しいか、まちがっているのか」の世の中に出る上で大事な判断基準は数学より大事なことだと思うので、数学より社会の時間を増やしてあげて下さい。あくまで個人的な意見ですが(20歳代女性)
- ・「自覚があってもしてしまう人」「自覚があっても悪いと思わない人」「自覚のない人」色々な方がいて「人の業」と呼ぶと思います。人に精神的に依存しないと生きていけない人も同じでは？経済的な事も一つの大きなポイントですよね。自身の収入が少なく、生活できない事はかなり大きいと思います。あとはよくわかりません。相談をうけた方も裏切られたような気分になることもあるかもしれないし・・・相談者は「結果的にどちらがよさそうか」と常に考えているけれど「自分に自信がない」「自分で自分の人生を決めていくための収入を得られる自信がない」等「誰か、知人を頼りたいけど、限界がある(いつまでも置いておけない)」それは一時避難と多少の差はあれ、あまり変わらない場合も多いのではないかと思います。被害者がしなければいけない事にも高いハードルはあるのではないかと思います。(生活に必要な収入を得る・精神的に強くなる・自分の自尊心が極端に低い方は自尊心を上げたり、相手にゆずってしまいうるけど、そのせいで自分も苦しんでいる人は「こんな方が大勢いますよ」と教えてあげたり・・・でも、収入が生活していける水準に満たないと話ははじまらない気がします。(50歳代女性)
- ・刑の厳罰化、加害者のGPS追跡管理。(40歳代男性)
- ・小学生、中学生の頃から授業に取り入れるべき内容だと思う(30歳代女性)
- ・男性がDVを受けることを考慮していない質問はおかしい(50歳代男性)
- ・ストーカー被害でも、警察が当てにならない昨今で、警察官の指導、専門の部署の設置(60歳代男性)
- ・教育の充実と、世間的にもダメというPR(50歳代女性)

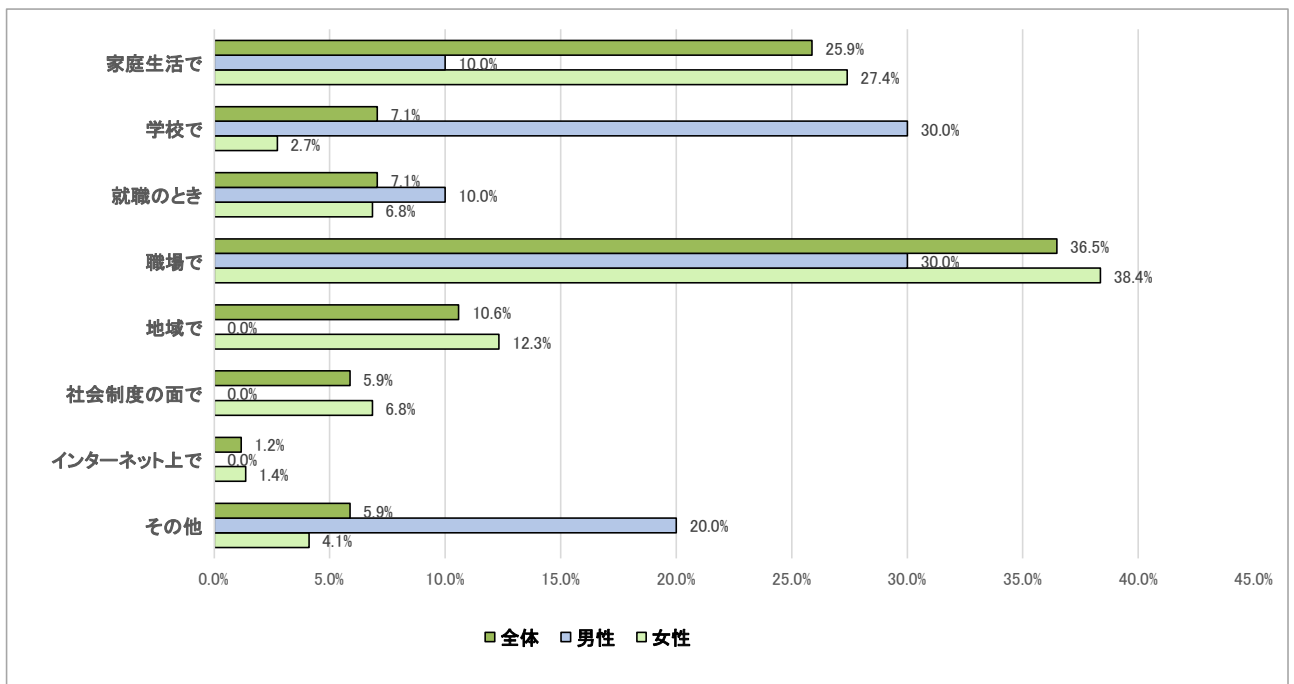
問18 あなたは、性別を理由とした差別や偏見を受けたことがありますか。

【回答者数:382人】



問19 問18で「ある」と回答した方にお聞きします。それはどのような場面ですか。(複数回答)

【回答数:85人】



【具体的な内容】

- ・家事をやるのは当たり前と言われた。(40歳代女性)
- ・義理の母に、〇〇家の嫁だから、義父母を看取るのが当たり前と言われた。(60歳代女性)
- ・女がやるのが当たり前という仕事が存在する。(40歳代女性)
- ・小さい頃から度々女性としてのふるまいや役割、生き方等への指導が年長者(男女問わず)からあった。(30歳代女性)
- ・全てワンオペ(40歳代女性)
- ・祖父や父親に将来、寝たきりや介護が必要になった場合に、「介護してくれ」と言われたこと。女性が介護をすることが当たり前のよう言われたこと。(18・19歳女性)
- ・夫から、産休育休中家事をやるのは当たり前と言われ、実際ほとんどの家事を自分がやった。また自分の親と同居を強いること(30歳代女性)
- ・進学の時、女は短大でいいと父に言われた。(39歳代女性)
- ・容姿だけで間違われたことが多々あるから(18・19歳 選択しない)
- ・夫が公務員なのに、なぜ正規職員で働きたいのか、と言われた。(60歳代女性)
- ・面接の際に、子どもを産む予定はあるのかとか子作りをするように促された(40歳代女性)
- ・お客さんに、なんだ女かと言われた。(30歳代女性)
- ・お茶汲み、掃除、宴会のお酌、事務員は間接人員、売上に関わらないから我慢しろと言われた。(40歳代女性)
- ・悪気は無かったかもしれないが、自分に子どもはいないのに当たり前のようにいるように思われたこと。(40歳代女性)
- ・以前の職場では、正社員で入社しているのに、女性は事務パートと同等の扱いと給料の金額でした。(40歳代女性)
- ・以前働いていた職場で、営業職なのに女性は外に営業に出れなかった。(40歳代女性)
- ・胸が大きいだけで名前も覚えてない、などの発言(30歳代女性)
- ・残業等の割合が女性は少ない(50歳代男性)
- ・女なので組織内代表にはしない、と言われた。(60歳代女性)
- ・女性だからという理由を何かにつけ言われる(40歳代女性)

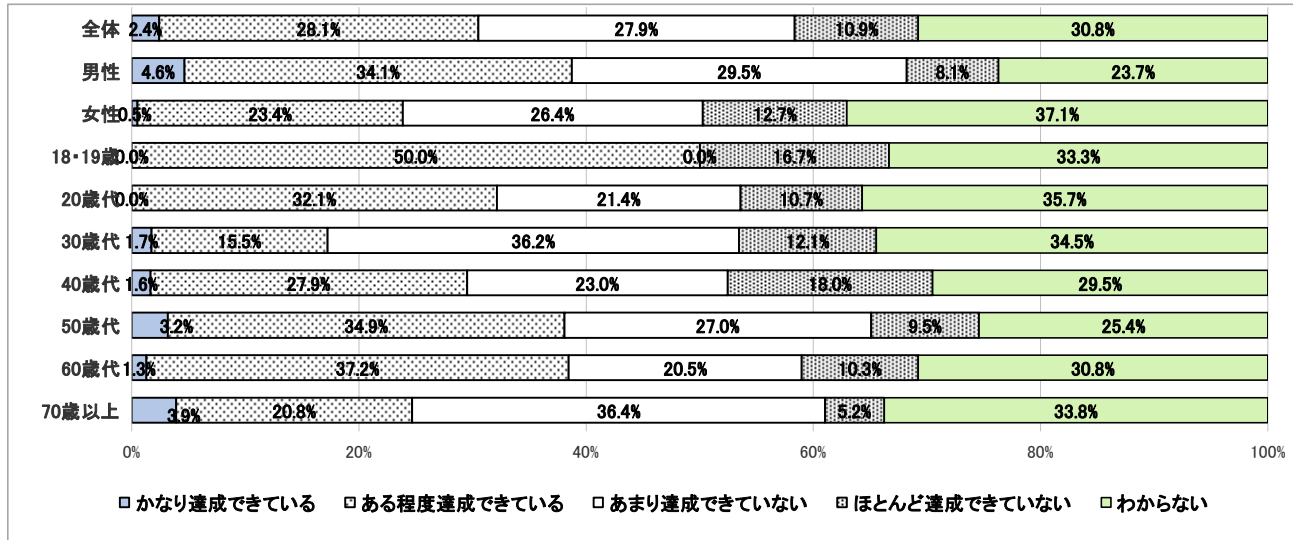
- ・女性は休日出勤は不要だが、男性だから土曜日に出勤を命ぜられる(50歳代男性)
- ・職場では男性をたてないといけなような雰囲気がいつもあった気がする。言われたわけではないがそれで上手いく。若い頃は軽く冗談でセクハラ発言も度々あったが受け流すようにしていた。(30歳代女性)
- ・年配の男性客から、「今から帰って子供にご飯作るのが大変だね。」と勝手に決めつけられた。(私の個人のことは何も知らない人にです。)(40歳代女性)
- ・介護のときも「娘だから」という圧力が強い(40歳代女性)
- ・年長者は若者の意見を聞かない。昔のままで効率的に動く事を嫌がる(40歳代女性)
- ・美術館に1人で行った時に、性的な嫌がらせの言葉を浴びせられた。(60歳代女性)
- ・面倒な役割をやらされる(40歳代女性)
- ・正社員になる難しさ(40歳代女性)
- ・離婚したら、暮らせない年金制度のあり方(60歳代女性)
- ・別に悪意があったわけではないと思うが、母から「やっぱり男の人は自分より高学歴の女性と交際しようとはなかなか思わないんだよ。」といわれた。世間に「男性が女性より優位でないと恥ずかしい」というような考えがあると思った。インターネットは匿名だからだと思うが、男女平等について報じられた記事などのコメントで「でも結局女性のほうが退職する率が高いんだから、そりゃ男性を雇いたいでしょ」というものが散見され、子育てや仕事を男女平等にやろうとは思わないのだと感じた。(18・19歳女性)
- ・独身女性は既婚女性に比べてコマのように使われ、あたりまえのようにされ、感謝もなかった。(30歳代女性)
- ・軽くみられる(70歳以上女性)
- ・自分が子供の頃、親から「女なんだから自分の弁当くらい自分でつくれ」と言われた。(30歳代女性)
- ・飛行機の座席で、隣の女性から、同伴の女性と席を替わってほしいといわれたことがある。(60歳代男性)
- ・女だから という理由で下に見られる。出しゃばるな と威圧的な態度をとられる。(30歳代女性)
- ・給料は女性が安い(同時間、同じ仕事をしてても・・・)(60歳代女性)
- ・子どもがかぜをひいた時に、仕事を休むのは母親だといわれた。(30歳代女性)
- ・同じ意見を言っても、男性が社員が言えば上が動いてくれる。私が言っても動いてくれなかった。新車購入時、車屋の社員の営業マンが夫にだけ名刺を渡した。今日入車は私なのに。確認もせずに。(30歳代女性)
- ・仕事内容により仕方がないとは思いますが、重いものを使用するといった点で女性だからと断られた。(20歳代女性)
- ・マッサージ店等「女性専用」(50歳代男性)
- ・学校では女の子なんだから～ 地域では女のくせにとか(40歳代男性)
- ・家の行事(法事、葬式、結婚式など)男の兄弟で決めてしまう(無回答)
- ・女の子だから家事をしなさいと育った。お客様へのお茶出しは女性が行う。女性役職者を増やすためということで、その気がないのにすすめられる、その差が強い(20歳代女性)
- ・海外出張は男性しか行けない。給与が男性より少ない(仕事の質や量は多くても)(60歳代女性)
- ・自分が気にならなければ何でもなくて 自分がいやならハラスメント。相手にとってはとてもわかりにくいと思います。とても難しい問題です。男と女はすべてにおいて違うのだから 同じにするのは難しい。お互いにできる事で協力できればいいのにと感じてしまいます。けれど昔より女性もいろいろできるのでこれから少しずつ変わっていけば良いと思います。昭和生まれとしては小さい頃から男はこう、女はこうと教育を受けてきたので、その思いをひっくり返すのはとても大変。だからそうやって生きてきたお年寄りに変われといってもムリだと思います。人生を否定されてると感じると思う。これから少しずつでもよくなりますように。(40歳代女性)
- ・家庭生活で常に家族は自分が食べさせているんだと口にして、えばる(70歳以上女性)
- ・無視(わからないけど)(60歳代女性)
- ・進学先を決めるとき、女だから県内の学校へ、又女性の教育にお金をかける事はできないと言われた(経済的に無理ではあったが)夫の代理で2年間評議員会に参加したが女性枠があり自分の名前で活動することができなかった。企画・運営をする書類の氏名も夫のものであった。家族の中から地域活動に参加するのに男性と女性の別が必要なのかと疑問に思った。(70歳以上女性)
- ・離別した女性への差別的発言(40歳代女性)
- ・私は夫がいます。私と夫のそれぞれの性格や特性上、地域のことも私が主となって動くことが適材適所なのですが、どうしても高齢者世代はご主人(夫)が参加されることが多いので、無意識だと思いますが、「(夫)は？」と聞かれることがあります。特にそれが嫌とかは思わないですが、世代的に仕方がないことだと思っています。(20歳代女性)
- ・女性だけにお茶汲みや掃除、給湯室の管理をさせる。送別会で渡す品物を手配させる。コピー用紙の補充等の雑用をさせる。制服を着用させる(男性は自前のスーツ着用)(50歳代女性)

男女共同参画社会に関する行政への要望について

問20 あなたは、あなた自身の生活や身の回りの環境から判断して、現在、男女共同参画社会は達成できていると思いますか。

【一つだけ〇】

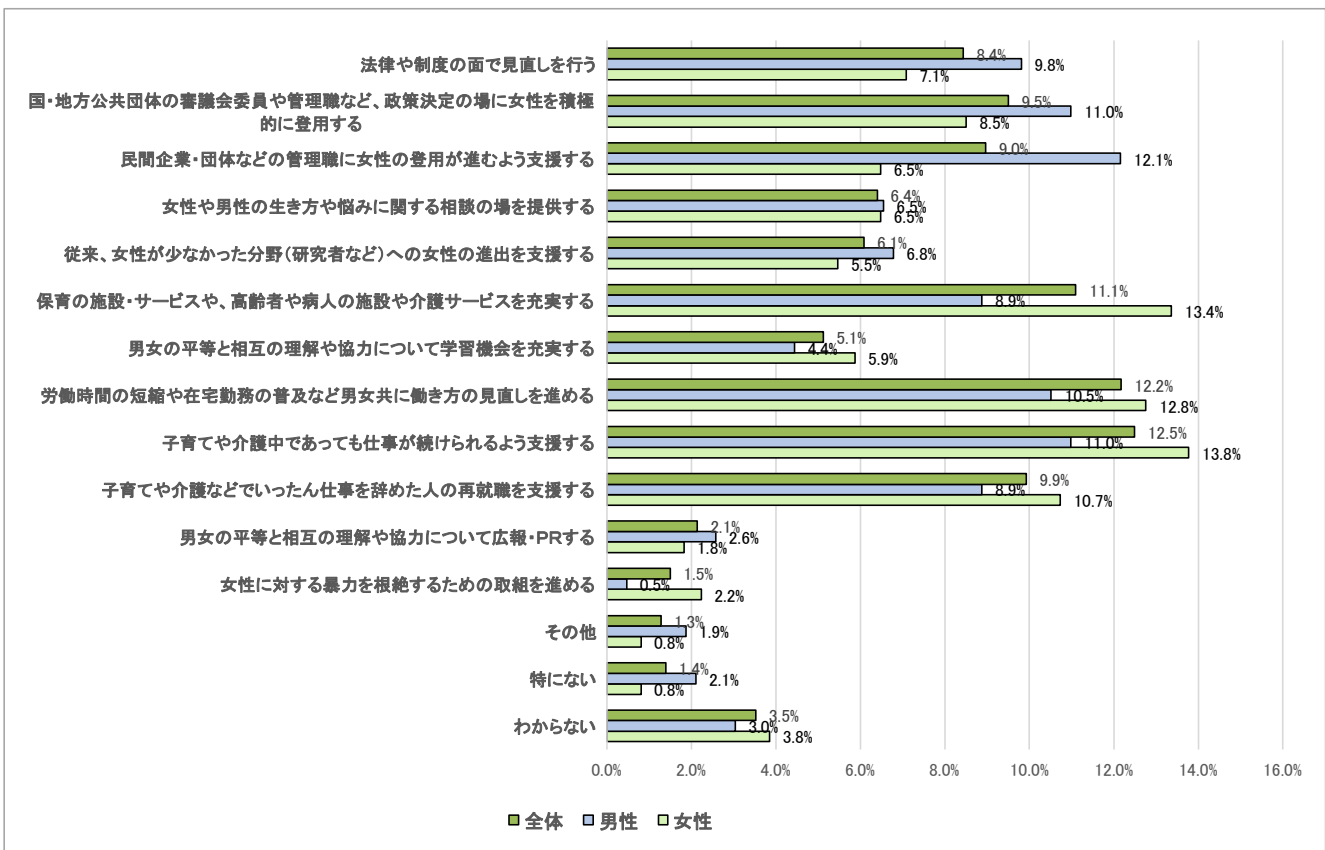
【回答者数：377人】



問21 「男女共同参画社会」を実現するために、今後、行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。

【特に重要だと思うことを3つまで】

【回答数：937】



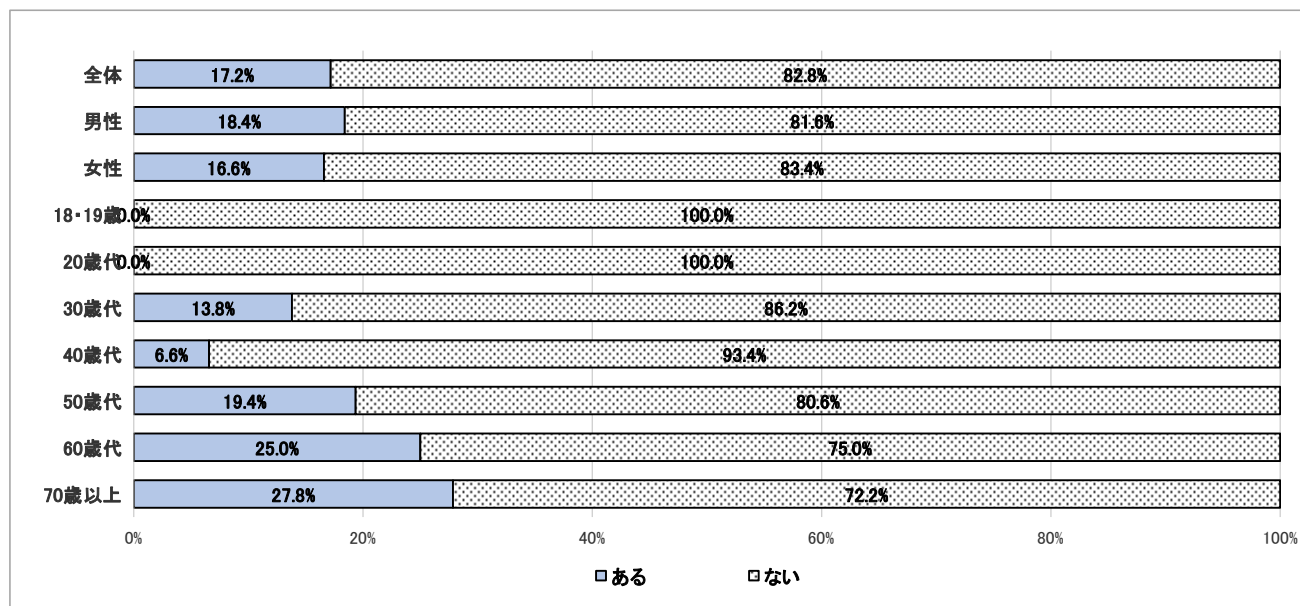
【その他意見】

- ・男性と女性では性別が違うため、できることも異なる。性別にかかわらず自らの力を発揮することはすばらしいと思うが、区別するところはしっかり区別してほしい。(30歳代男性)
- ・男性の意識改革ができるような啓発活動(50歳代女性)
- ・男性性、女性性を正しく学ぶ機会の充実(50歳代女性)
- ・8のような働きかたの見直しができない人の支援を(60歳代男性)
- ・小さいころからの教育がとても大切だと思います。その人が選択できる社会になっていったらよいと思います。(40歳代女性)
- ・性別を伏せた状態で採用等の選考を行うなど(30歳代男性)
- ・女性が現状に甘んじる事なく行動する気持ちが必要(70歳以上男性)
- ・女性自身が補助的でなく仕事や地域活動に積極的に参加し責任を持つ気持ちになる(70歳以上女性)
- ・女性を優先しすぎない(50歳代男性)
- ・男性の意識改革はもとより、女性も「私は女だから」の意識をなくさなければ何をやっても無意味。(70歳代以上男性)
- ・男女間の賃金格差を無くす事(60歳代男性)
- ・収入増加(20歳代男性)
- ・女性の給料を男性並みにする。男性が家事育児に普通に参加する。(30歳代女性)
- ・全員が積極的に望んでいる訳では無いのでバランスをとってすすめてほしい(40歳代男性)
- ・偏った意見、大きな声の意見、都合の良いを取捨選択する(40歳代男性)

その他

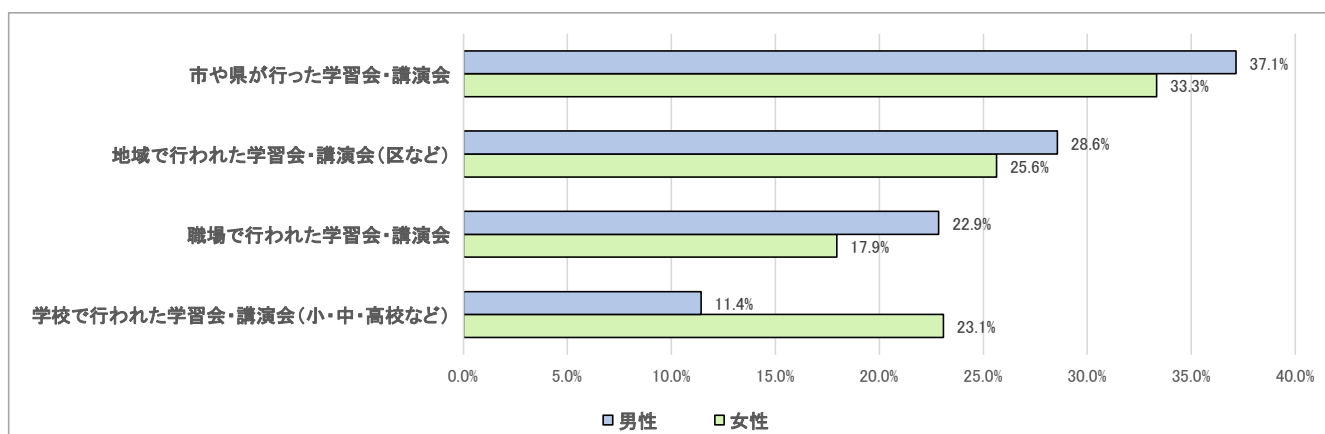
問22 男女共同参画推進関連学習会・講演会に参加したことがありますか。

【回答者数：380人】



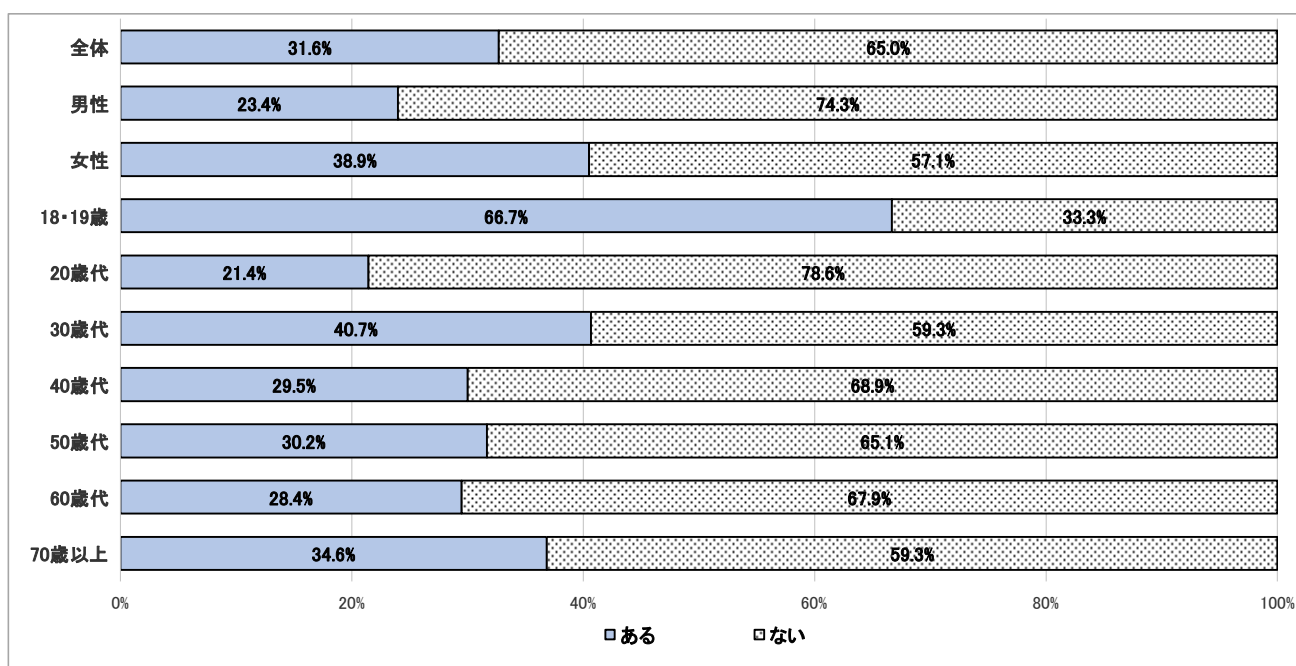
問23 問22で「ある」と回答した方にお聞きます。それは、どこで行われた学習会・講演会でしたか。【複数回答】

【回答者数：76人】



問22 男女共同参画に関する諸外国の動向や国際比較(ジェンダーギャップ指数等)に関心がありますか。

【回答者数：386人】



【ご意見欄】

あなたが、「男女共同参画」について、行政の施策、地域活動、習慣など、普段感じていることをご自由にご記入ください。

- ・まず、東御市役所の部長職の半分を女性にすること。行政組織が変わらなくてはと思います。(60歳代男性)
- ・男女平等が謳われすぎて、女性だから選ばれただけ、などの雰囲気を感じることもあり気まずい。地域の集会などでどうしても高齢男性の圧を感じる。そこに女性は居づらいと思う。こういう雰囲気があるから、それなら男性に任せておいた方が楽でいいと思う人がたくさんいると思う。逆に保育園、学校でママ友の集まりが放つオーラも、男性を育児に近づきにくくしていると思う。(18・19歳女性)
- ・男女平等、男女平等とはいうものの、平等でよかったもの、そのまま良いと思うもの、すみわけが難しいと感じる時も時々ある。(30歳代女性)
- ・専業主婦でも、自分がこの家を支えているんだという自信があれば十分発揮できると思う。これだけは人に任せられないというものがあれば、男でも女でも関係なく充実した毎日につながるのではないのでしょうか働き盛りのころ、職場のすべてを把握し、自信をもって働いていた。もちろん子育てでしなげら、それが今の家庭のあれば、私はそれでいいと思っています。後期高齢者となり、観念的に入り込んでしまったものは、どうしようありませんが、世の中の変遷だけは関心を持っていたいと思います。(70歳以上女性)
- ・名前は何度も聞いているのですが、今後聞かれて初めて中身を見ました。何しろ昼間は買い物(食事などの)に行ったり、夜になると読書をしたりで、よくわからないことが多いです。男の人と女の人が協力して向う会などひらくとか、活動をするというのはいいことだと思うのですが、どうも普段から年のせいか元気が出ませんので残念です。(50歳代女性)
- ・男性と女性は身体の構造そのものが生物学的に違っています。そして、その特性もおのずと違います。男女が無理矢理同じことを目標とするのではなく、その特性を生かしながら、お互いに人権を尊重することが一番大切なのではないのでしょうか。(70歳以上女性)
- ・女性の結婚、妊娠、育児中の時短、子供の病気の時の急な休み、病児保育、父親も同様に休める制度、つわりの時の休みや易さ(+生理休暇)、男性の育児休暇の柔軟な運用、活用。それをフォローする保育士の皆さま方の待遇改善(休み取り易く、休息時間の確保)病児保育の充実の促進。地区における、役員、そしきの源泉、縮小(60歳代女性)
- ・私自身男性だから、女性だからといった考えを持ったことはないですし、やりたい人、能力がある人がやればよいと思っています。もし、それができないのであれば、その為に必要なことは、対処的なことではなく、根本的に子供の頃からの教育がないと考えます。教育が充実した世の中になることが願いです。(50歳代男性)
- ・男女共同参画について、何年も前からいわれているのに、このような調査は遅すぎるのではないのでしょうか。(70歳以上男性)
- ・東御市に来て2年になりますが、あまり交流がなく、孫の面倒のみなので、あまり知らずしっかり回答できませんでした。(70歳以上女性)
- ・地域活動でいえば、区の役などは同じ人ばかりが役員になっていて、やらない人はまったくやらない。(60歳代男性)
- ・女性の登用は必要だと思うが、達成数値を設定しての登用ではなく、能力を評価して登用してほしい。ただし、現在の評価は、どおしても長年休むこともなく働いている男性に有利となっているので、評価方法を変えたほうが良いと思う。(能力主義、評価主義)(50歳代男性)
- ・多地域から移住してきましたが、東御市役所や市民病院の方たちの対応が丁寧であること、町内会活動が活発なので、いろいろ参加していること、海野宿や白鳥神社のような歴史的価値のある場所を大切に保存している・・・等々、とても暮らしやすい地域だと日々感じています。また、山々に囲まれているから、災害も少なく、晴天の日が多いことはうれしいことです。この美しい景観を守る努力を男女ともに皆でしていきたいです。
- ・学習会、講演会等は「男女共同参画」と単独の開催が多いように思う。「男女共同参画」と謳わない催しや、共催があってもよいのではと思う。(70歳以上男性)
- ・問6について、3つ〇をしましたが、1～10まで全部〇をしたかった。「1000人無作為抽出」とありますが、前回は送られてきました。一生懸命答えましたが、次回は別の方を選んでください。お願いします。東御市からの調査のようなものは3回目です。(50歳代女性)
- ・男女平等の社会で育っていない。40、50歳代の男性が急に家事や子育てができるとは思わないが、少しでも早く女性だけが、家事も仕事もすべて行う社会を早急に変えてほしい。若者世代に頑張ってもらい、お父さん世代を刺激してほしい。(50歳代女性)
- ・男性性、女性性の特質をできる限り正しく理解し、日常生活でいかしてゆくことが大切だと考えています。差別はあってはならないと強く思います。しかし、性別上の能力や力の構造は各々に明確な違いがあると思います。性病の防止や子孫を健全に守り残しつつないでゆくことを考えると、正しい性の理解は必要だと考えます。方や、性的な悩み(身体と精神の矛盾や混乱)に関しては、さらに理解や正しい知識を持つことも不可欠だと考えています。(50歳代女性)
- ・男性だからこうすべき、女性だからこうすべき、というのではなく、その人その人の良さや役割、得意、不得意を尊重し活かしながら過ごしていける社会になると、皆行きやすくなると思います。ですが、やはり、男性と女性は脳の作りが違いうなと感じる場面は多々あります。育児関係では特に感じます。だからこそ、お互いのコミュニケーション、話し合いをしよう、向き合おう、という意識が大切になってくると思います。同じ温度感で皆で向き合えるのが理想ですが、市全体となると大きな課題なのかなと感じます。一対一でも難しいことでもね。今回の市民意識調査で私もいろいろと考えるきっかけになりました。ありがとうございました。(主旨と違う回答でしたら申し訳ありません。)(30歳代女性)
- ・そもそも地域活動が多すぎるので、最低限必要なこと以外は無しにしてほしい。老人向けだと思う。夫婦共働き&土日仕事だと草刈りの不足金も毎回払わないといけないし、役員なんてできたもんじゃない。(30歳代女性)
- ・男性優位に感じたり、女性優位に感じたりと、どちらかが優位に感じることがあるので平等だとは思わない(30歳代男性)
- ・地区、地方の役員選出など、ほとんどが男性が選出されるのが習慣になっている様に思われます。きめこまやかな考え方のできる女性をも起用していただきたいと思います。(70歳以上女性)
- ・女性が共同参画による役員着任に消極的に進まない。(70歳以上男性)
- ・女性のため・・・等 逆差別にならない様にしたい。してほしい。女性の方が得意な事、男性のほうが向いている等あるので、全てを男女平等というわけにはいかないと思う。(50歳代男性)
- ・年配者の中には、男尊女卑の考えの強い方がまだおられるが、世代交代が進めば、少しずつ改善するのではないかと思います。(50歳代男性)
- ・女性も男性も性別で区別されない社会が必要だと思う。女性も声を上げられる環境を整えていくようにお願いしたいです。(30歳代男性)
- ・女性の権利向上が大切なことはもちろんとしつつも、何かと女性ばかり優遇する傾向がある。男性だから女性だからではなく一人の個人としてしっかりと尊重される社会を目指していくべきだと思う。(40歳代男性)
- ・「男女共同参画」という言葉を知らなかった。そのくらい浸透していない。ので、何もわからない。まず、世の中に知ってもらう所からではないだろうか。(20歳代女性)
- ・男女共同をうたいすぎて、今度は男性の立場が弱くなりすぎてしまう可能性もあるのではないかと心配している。(20歳代女性)
- ・男女間の特性の違いは、変えることのできない物であります。意識改革だけで、長い慣習で培われてきた「男は外で、女は内で」という立場は変えられないと思います。しかしながら、社会が少しずつ変わっている今、それに順応できなければ、置いていかれるでしょう。(70歳以上女性)
- ・子どもの出生率があまりにも低い現実・・・根本からの解決が必要と思う。外国人にやさしく、日本人に厳しい・・・移民政策(中国人、アフリカ人他)。(男女共同参画から離れてしまいました。)
- ・でも、生活するので精いっぱい現実なのに、子どもを産んで育てる事なんて無理だと思います。(60歳代女性)
- ・アンコンシャスバイアスの根強さ。女性の能力を使わないのは社会的損失。女性が女性を大切にしない。女性もアンコンシャスバイアスがきいている。男性が自分を振り返ることが少ない。自分が一番強い、えらいと思いたがる。男女ともに自分のことは自分でやる、家庭は共につくるもの。幼いころからの家庭教育、公的教育が必要だと思います。(70歳以上女性)
- ・東御市が他の地域に比べて良いとも悪いとも感じたことはない。(40歳代女性)
- ・男女共同参画とはずれることですが、元からの差別にはビックリしていました。新潟から長野に結婚のため来た時、部落解放とか差別がどうかとかそんな看板が目について何のことだろうと感じていました。その後知ったことが地域がどうか、姓(名字)がどうか、何でそんなことで差別するのと腹立たしく思い、今も感じています。50数年たっても未だに消えません。80才以上の特に男性には無理な話ではないかと思っています。指導に当たる方たちが、年配であればあるほど差別しているのはあなた達でしようと言いたいですね。これからは男女共同参画について理解していきたいと思いました。(70歳以上女性)
- ・70歳を超えても、現役で仕事を続けています。現代の若者より働いていると自分では思っています。職業によるとは思いますが、年齢によって差別されることのない職場なので経験を生かしながら元気に働いていることに幸せを感じています。高齢化社会の中で、元気で働ける内は、働き続けるのも生きがいになると思うので、社会も、企業も、国も力を入れてほしいと願います。(70歳以上女性)
- ・農村部においては、地域活動(地域役員)など、女性が少ないと思う。男性の意見が強いと感じる。東部町時代に引っ越して来て強くかんじた。最近、少しずつ改善されてきているとは思いますが、よそ者扱いされてつくづく感じたこともありました。相談できる人もおらず、妻はさびしい思いをしたと思います。住宅メーカーは選ぶことが出来ても、自治会の詳細(年間の自治会費、地域に支払う)お金は知りませんし、選択できません。そのような点も、もっとオープンにできれば良いですね。(50歳代男性)
- ・あまり知れわたっていないような気がします(70歳以上女性)

・30年間東御市(事家)から出ていたので良くわからない、帰ってきては、地区の活動には参加していましたが、70すぎて今は自分のジムに行き体調に気をつけております。(70歳以上女性)

・ある思いを主張する事はよいけれど、すべてがそれが正解という訳ではないと思います。私はこうだからこうしろというのもおかしいもので、お互いに違いを認め、理解できなくてもそうなんだね。でも私はこう思う、という考え方が大切だと思います。心が弱いからやさしくしろ、トランスジェンダーだからトイレも使わせろ、すべてをみとめていたら、みんなおかしい事になってしまう。とても難しいですが、自分の事、人の事わかるようでわからない。人と比べないことも大切。少しずつでも選べる自由が増えていけばよいと思います。(40歳代女性)

・女性の区長がいてもいいと思います。市役所の職員さんが正職員が1/3しかいないのはおかしいと思います。保育園に子どもを預けようとしても受け入れられない事が実際にあります。それでは母親は働く事ができないと思います。子育て支援と言われてますが、できてないと思います。(60歳代男性)

・東御市のラインで男女共同参画の情報が見れるようになればよいと思う。(60歳代男性)

・地域活動→たとえば、組長はゴミステーションを毎日きれいにするなどの義務が甘い。できるだけ自分は何もなくてもきれいにしている。ゴミ拾うとか・・・(70歳以上女性)

・女性活躍推進法が成立しても実情は変わっていません。自然に変わることを待っていても無理です。女性活躍を推進するには制度を作り、数値目標を義務化する必要があると考えます。男性優位社会では男性の特権を手放すことは難しいことから、過渡的には義務化又は場合によっては罰則も必要かもしれません。男性は自分の特権に気づいていない(人)が多いので、先ず、男性にその優位性を気づいてもらって(男性自身の考え方を変える)、男性、女性が公平に評価してもらえる社会風土が必要と考えます。女性活躍というよりジェンダー平等の推進が必要ではないか、女性のがんばりやヤル気の問題にされていないかと考えます。女性の出産、育児にあたって、職場の中で、男女問わずねたみ、仕事のしわ寄せ感がないか、子育て中の女性でも必要な支援は人それぞれ、一人ひとりに必要な支援をすることが大切と考えます(70歳以上)

・女性の方の能力各方面高い事を本人も同様に認識して欲しい。男性は家庭での対応能力がない為女性に頼りすぎているかも私も同様に！(70歳以上男性)

・まずは男性と女性ともに「男女共同参画」についての意識改革が必要(70歳以上男性)

・今男性が家事・育児介護等以前は女性が担うべきと考えられていた活動を、自分の役割として参加されて来た方が増えている。是非、その大変さばかりでなく、楽しさや、周囲との関わりの中での発見等を発信して欲しい。(息子の家庭をみていると楽しんで育児や家事をしている様子が伺える)又コロナを経験し、仕事の場で家庭内や自分自身の身体の不安等個人的な話題を職場で共有できるようになったと、話す男性が少なからずいっしょだった。女性は割り合い同僚と個人的な話をするが、職場でも男女を問わず、子育て介護等のコミュニケーションができる場づくりが必要かと思う(70歳以上女性)

・共同参画は必要な事であるが、役員数、委員数を同等にすべく、半強制的に女性の選出を持ち回りで強い様な事をしている組合、団体、委員会があるのが残念です。共同参画の根本である個人の能力を発揮することが大切だと思います。(60歳代男性)

・男性の目線から見て、女性は大体優秀であると感じます。これまでの文化的に形成されてきた社会性が国際化により多様性が増し、技術の進歩により男女を別けて考える必要が無い社会となってきました。これまで押し込まれてきた女性側の気持ちは開放して男女関係無く「夢の実現」と「自発的幸せの獲得」が共通のテーマとなったことが、男女共同参画の起り点と考えます。都市部ではより参画が進んでいると感じますが、より男女の違いを具体的に教える場も必要になってくると思います。ジェンダーレスの時代だからこそ違いの理解は必要です。そこから男女共同参画の推進と可能性を話し合うと良い。(30歳代男性)

・あまり、意識しすぎるとの差別だと思う。(50歳代女性)

・20年以上前になりますが「男女共同参画」についての地区の会議に出席したことがあります。その頃はまだまだ男性優位としか言えない状況でした。発言をすることもその内容も遠慮がちになり、なかなか本音は言えませんでした。それに比べると、ずいぶん変わったなあと思います。地域で活躍している友人も多数です。周囲の意識もかなり変化していると感じます。一方で私たちの世代では家に縛られている友人も少なくありません。(60歳代女性)

・男女共同参画が達成されるか否かは個人の意識による。既に望ましい価値観を持っている人の集団に現在はいると感じている(40歳代女性)

・世の中平等という事は大切なことでありますが、男性には男性の、女性には女性の役割というものがあると思うので、何事も平等にしてしまうのはこれからの世の中がおかしくなってしまうような気がします。特に少子化は、女性が一人でも生きていける程の収入が得られてしまうため、結婚もしなくても生きて行く事ができてしまう事が、一つの要因だと思います。(18・19歳男性)

・行政で地域活動の役員は男性という感覚が続いた後、「男女共同参画」の施策に合わせようと自覚がない市民(職員も)に割り当てる手法を取っていたように思う。結果、同じような女性が役を受け、広がりが見られなかった。現在、これからは、男女差別ない教育を受けた社会人が多くなり女性も能力発揮していくように見える。男性が逆転しないよう、共同する社会になるよう企画運営してほしい(70歳以上女性)

・もうじき80歳になります。戦後すぐに生まれたわけで、平和憲法の元、日本は再び外国と戦争をすることはないと100%信じて育ちました。男女同権も憲法では保証されてはいましたが、当時の社会規範は男尊女卑そのものでした。女性は能力を内に秘めあらゆることに控えめであることが美德とされる中で大人になりました。結婚して内助の功を発揮し、家を守り、子どもを育てることが、最も大切なよい生き方とされてきました。女性自身が自分を主張しないことをよしとされていたわけです。次第にウーマンリブ、ジェンダーフリーと真の人権尊重に世界は動いているように感じていますが、長い間やりたいことを押さえて生きてきた世代の一人として「今さら私に何ができるかしら」と考える時、幼少時からの家庭・学校・社会での教育がとても大切と思わされます。男女を問わず「自分はどうしたいのか」をしっかりと考えて生きていくことの大切さを子どもたちに教え、「どうやって幸せな人生を生きることができたらうか」と個人が追求し、周囲も可能な援助をしていけるというと思います。(70歳以上女性)

・今まで女性は家庭を守るものと思っていましたが、女性が社会に進出し活躍することは良い事だと思います。夫婦はお互いに支え合い仲良く暮らし、世の中は争いのない平和な安心して過ごせる日常であって欲しいです(70歳以上女性)

・少しづつですが、だんだんと普及してきていると感じます。何ごとともそうですが、理想や目標をかかげ、形を作ったら、次は現実的に可能なレベルまでどう落とし込んでいくかが一番大事で最重要です。正直「周りがどうなるうが変えられない人」は残念ですが、一定数はいると思います。いかにその人たちに引っ張られることなく、それ以外の変えられる可能性のある人たちに、どうアプローチしていくかが一番の優先点だと思います。アプローチのやり方は「教育」「職場」「地域」の各段階でそれぞれ異なると思います。が、「行政の支援」はどの場面でも必ず大切であり、なくてはならないと思います。その中で東御市を含めた各市町村は住人や企業の為にがんばってくれていると思います。しかし、本当に残念なのは最重要の国のあり方です。裏金問題等をはじめ、本当になげかわしく、国として恥ずかしくないのかと思うばかりで、国民の生活に税金が使われているのは、本当に体裁をとりつろう程度の割合だと思っています。もっと国民第一な国であってほしいと心から願って、早く政権交代することを期待してます。(20歳代女性)

・今は昔ほど、男女差別はなくなったと思うが、やはり現代でも男性の方が優位だと感じることは多い。仕事の役職も男性の方が重役になることが多いし、女性でも経験や仕事量、仕事内容が多くても重役になるのは男性で、そこでも男女の差があると思う。都心では、電車やバスに女性専用車両が増えたりして女性を守る環境ができていたが、田舎はまだあまりそのような制度が発展していないと思う。自分の子供たちが大人になった時、男女の差別がなくなり住みやすい街になってくれたら良いと思う。(30歳代女性)

・長野県の男性は保守的思想の方が多く感じます。私は高知県の出身ですが、高知の方が女性は自由に発言していると思います。(70歳以上女性)

・無能の武器化についても知ってほしい。アメリカなどでは何年も前から話題になっている(40歳代女性)

・弱い者、子ども、高齢者に優しい、空気の良い東御市であって頂きたいと願います。(70歳以上女性)

・意見を聞いてくれる人が身近にいない時に相談できる窓口がほしい。(70歳以上女性)

・あまり人とかわかっていないためわかりません。自分の狭い人間関係とTV番組の情報を見てどう思ったかという感想を書きました。いずれにしても、経済力がないと自分が嫌でもそこから抜け出せない感じがします。(50歳代女性)

・みなが幸せならそれは良い。やりたくないことを押しつけ合うこともあるかもしれないが、家事・育児の内容チェックシートなどで、作業を可視化して、作業分担についてよく話し合う事は第一歩ではないかと思えます。(広報にもでていましたよね)その次はその作業の質の話でもできるかもしれません。「ここまできちんとしないと意味がない」「二度手間じゃない?」的な・・・世界人口の約1/2が女性である以上、その人達の意見を取り入れた方が、皆が平等で生活しやすいと思うが、女性が責任を負うことになれていない面もあると思うので、その辺は個人個人がどこまで責任を担うイメージができていないか、個人差はとも大抵いではないかと思えます。各国の女性リーダーも、女性の皮をかくった男性が中に入っている?と思う場面もあると思います。そういう人がなくても、リーダーになりやすい分野もあるかもしれませんね。(50歳代女性)

・男性らしさ女性らしさは根深いと思う。妊娠出産はどうしても女性がやらなければならない。男性しかできないこともあると思う。それはそれとして上手くお互いに柔軟に協力できればいいと思う。(30歳代女性)

・女性に子育てや介護といったケアを全て押しつけている現状では、男女共同参画にはほど遠いと感じています。この状況下のなかで、役員や管理職といったより責任のある仕事を任せるのはいくら能力があったとしても、引き受ける人は少ないと思います。(40歳代女性)

- ・男女共に、家庭に合わせて働きやすい環境を作っていける制度があると嬉しい。また、そのような制度がある事を困った時に知ることができる機会があるとよい。(40歳代女性)
- ・まだまだ男性社会だと感じてる事がありますが、皆さんの意識は長い時間をかけてきっと変わっていくと思いますし、人それぞれ得意、不得意ありますから、性別じゃなく一人の人間として活躍出来るようになれば良いと思っています。(40歳代男性)
- ・地域活動に参加する程度なので、詳しくはわかりません。(40歳代女性)
- ・男女は区別だと思う。(60歳代女性)
- ・私は夫の両親と同居をしています。義父は、家事全般を当たり前の様に義母にやらせていて、それを目の当たりにする私は毎日ストレスを抱えています。(40歳代女性)
- ・アンケートが女性を優遇するよりな気がする、女性から男性への暴力やハラスメントのある世界もあり、平等を訴えるのであればそちらも考えてもらいたい。(40歳代男性)
- ・あまり意識していない(60歳代男性)
- ・性と生殖に関する健康と管理(SRHR)の視点の欠如、女性支援法を本気でやろうとしていない、職員の多忙化と財政難で本気でジェンダー問題に取り組む専門職がいない、国に報告するための机上の計画策定。(60歳代女性)
- ・地域活動の役が性別で分担が決まっている慣習があるように思えるが、現在の時代に合っていないと思う。また役が多すぎるものよろしくない。市が中心となってコンパクト化するなど、男女関係なく負担感を減らすようにしたほうが良いと思う。東御市の民間の企業でも、掃除は女性と決めているところもあったりと、なかなか女性にとって魅力的な企業が少ないのではないかなと思うことがある。男女の役割の意識を変えるには時間がかかると思うが、徐々にやっていくしかないかなと思う。(50歳代女性)
- ・女性議員が増えるといい(60歳代女性)
- ・若者の意見を聞いてもらえない、最近無くなったが婦人部という役割が地区にあったこの仕事が雑用係、下に見られてる感じがすごした(40歳代女性)
- ・古くからの習慣を少しずつ変えていく事(50歳代男性)
- ・地域だったりサラリーマンの場合は勤め先の企業のカラーだったりで差はあると思います。(50歳代男性)
- ・活躍したい女性が差別や家庭環境により活躍できないのは残念に思う。(30歳代男性)
- ・地域活動など参加できる人は、金銭的に余裕のある人だと思います。(60歳代男性)
- ・計画とか大変なので作らなくていいです。大体こういうのは女性の声の方が大きく感じます。(20歳代男性)
- ・まだまだ「男女平等」社会実現には、ほど遠いように感じます。(60歳代男性)
- ・男性主体の考え方が多いのは基本的に年配者が多い。役員のやる事が多すぎて誰もやりたがらないから結果慣れた年配の方が主導権を握る。偏見かもしれないが年配男性は女性はどうあるべきという固定観念が強いように思える。だれでも気軽に地区の役員にチャレンジできるように、区長等の仕事の軽減を求める(役所でできる事は、地区に押し付けない)(40歳代男性)
- ・人聞きのいいことに執着しているが、本来何が不足してなにを必要としているか しっかりと見極めれる人たちが指揮をとってほしい(40歳代男性)
- ・理想ばかりが先行(60歳代女性)
- ・今は女性が大切にされている社会だと思います。(60歳代女性)
- ・女尊男卑なアンケートですね。(50歳代男性)
- ・あえて女性の比率だけを見るのはどうでしょうか、やりたい女性が出来ないことは改善すべきだと思いますが(40歳代男性)
- ・女性の意見を聞きたい分野であれば、女性に特化して聞いてほしい。また市民の意見を聞くには、自治会単位では困難です。市報やメール、ライン、SNS等で常に意見を聞き続けてほしいと思います。(50歳代女性)
- ・地域活動では、男性が主導で動いているように感じる(60歳代男性)